

警備業における死傷災害発生事例（2017年）

年	月	発生時	死傷災害発生事例	年齢	起因物 (小)	事故 の 型	労働 者規 模
2017	1	7～8	排雪作業中の片側規制を実施していたところ、フロントガラス凍結で、前方不注意の軽乗用自動車規制中の整備員に気付かず、走行して来て、規制車の手前でやっと止まった時も人を撥ねた事に気づかなかった。	58	231	17	50～ 99
2017	1	11～ 12	立体駐車場3Fと屋上をつなぐスロープ付近にて、駐車場整備業務中に、屋上駐車場を開放するためスロープ付近を歩いていたところ、アスファルトの大きな窪みに足をとられ捻った。	62	417	19	100 ～ 299
2017	1	16～ 17	道路舗装改修工事現場において、片側交互通行による交通誘導業務を行っていた際、一方で路線バスの誘導に戸惑っていた同僚を手伝うため小走りで向かっていたところ、路面につまずき転倒してしまい、右ひざを地面に強打し負傷した。	65	417	2	—
2017	1	8～9	トレーラーが進入して来たため、約3m対面誘導（早歩きしながらの徒歩行）をした際、右足踵部から骨折音とともに激痛があった。	48	921	19	1～9
2017	1	9～ 10	警備業務の委託を受けているリニューアル建設工事現場入口の交通誘導警備中、現場へ入場してきた大型トラックを誘導していた際、入口に敷いていた鉄板が、凍り付いた雪が溶けかかって濡れており、足をとられ滑り転倒した際に右肩を打ちつけて負傷した。	64	417	2	300 ～ 499
2017	1	14～ 15	地区保管現場において、トラック車両の誘導中、地面に残っていた雪に足を滑らせ、そのまま後方に転倒し、骨盤を骨折した。	63	719	2	10～ 29
			私服の保安警備員として店内を巡回していた時に、惣菜などをマイ				300

2017	1	11～ 12	バックに入れ未精算のまま店外に出た初老の女性がいたので声をかけ、事務所に同行する際、女性の上着の裾を掴んでいた左手を捻られ、右手を引っかかれた為、負傷した。	50	921	90	～ 499
2017	1	13～ 14	第一当事者（被災者）は業務で上記道路を社有車にて走行中、左側道より一時停止を怠った第二当事者（加害者）より、車両後方側面に衝突された。被災者車両は電柱に激突した後、2～3回横転して停止した。	66	231	17	30～ 49
2017	1	10～ 11	補修工事のため、下り車線に工事帯がある片側交互通行の上り線で交通誘導警備中、上り線の車両を停止誘導し同僚警備員が下り線の車両を上り線に流していたところ、流された加害車両が工事帯を避けて上り車線を通行し、工事帯を過ぎても下り車線側に戻らず上り車線を直進してきたため、その車両に轢かれてしまった。	35	231	17	50～ 99
2017	1	9～ 10	勤務先にて店舗巡回中、通路上にあった障害物（ダンボール）をジャンプして越え、着地した際にアキレス腱を負傷した。	33	611	19	300 ～ 499
2017	1	21～ 22	改札口で、社員に対する暴力行為防止対策に伴う駅巡回警備で改札口で立哨していた時に、立ちくらみをして右手を壁に突いた時に右手小指第1関節が曲がったまま戻らなくなった。その後、白手袋が汚れたため取り替えをして、トイレ巡回をした時から右手を動かすと強い痛みがあった。駅校内の寒さもあり、右手に力が全く入らなくなった。	31	921	2	50～ 99
2017	1	11～ 12	当日の就業場所にて立哨警備中、眩暈がした為その場でしゃがみ込んだ際、そのまま後ろ方向によろけて後方のフラッパーゲートに後頭部を打ち付け負傷した。	65	921	2	500 ～ 999
2017	1	19～ 20	保安業務中、加害者が未精算の商品を店外に持ち出す様子を目撃し、声掛けを実施したところ、逃走をしたため静止を促すも応じず、激しく抵抗し、突きとばされて自身の体が倒れ、その上に加害者が倒れてきたため受傷した。	29	921	99	100 ～ 299

2017	1	3～4	交通誘導警備に従事中、4tダンプを搬送する為A型バリケードを持ち上げて脇にどかさそうとした時、バリケードの脚に左足が引っかかり転倒し、右手を路面に強打して負傷した。痛みはあったが、なんとか勤務を終了し、帰宅したあとに痛みが増してきた。	66	379	2	1000 ～ 9999
2017	1	1～2	商業施設にて警備中、業務を交替する為、階段を2階から1階に下りる際に足がもつれてしまい、2階の踊り場（階段上部）から、階段下まで転落し、はずみで1階踊り場の壁面に衝突した。衝突した際、かぶっていた制帽のつば（プラスチック製）が割れて額を切ったほか、左膝を骨折してしまった。	43	413	1	300 ～ 499
2017	1	10～11	ゲート前で警備警戒中、開門したキャスター付蛇腹ゲートが内側に倒れ、通行の妨げとなったため作業員とともに2名で当該ゲートの片側を持ち上げ移動させようとした際、右手がすぐ横に設置してあった仮設トイレの角にあたり、薬指第1関節の先端を斜めに切創し、縫合処置した。	80	419	8	100 ～ 299
2017	1	10～11	当日の就業場所にて交通誘導警備業務に従事中、交差点を左折しようとしている車両の行き先に自転車が走ってきたので、車両を止めようと慌てて急に走り寄ろうとしたとき、左足脛が肉離れを起こし負傷した。	62	921	19	30～ 49
2017	1	17～18	交通誘導警備中、ダンプ後方の車両を止めようと動いた際、路面の仮舗装の段差につまずき転倒し、左膝を強打し、左ひざの皿が割れた。	65	418	2	50～ 99
2017	1	14～15	被災者は持ち場で列車見張り業務を行うため、駅方面にある持ち場に向かって線路脇を歩いていた際、駅から約500m歩いた持ち場付近で不注意により砂利に足をとられ、転倒して負傷した。	50	523	2	10～ 29
2017	1	13～14	歩道を建築作業所巡回へ向かう途中、突起物につまずき右肩から転倒し右肩強打して右鎖骨を骨折した。	62	419	2	—
		11～	管路耐震化工事現場にて、交通誘導警備作業の合間に食事休憩を40				

2017	1	12	分取り配置に戻った時に、誤って縁石に躓き転倒し、地面で左足を強打し、大腿骨を骨折した。	72	418	2	—
2017	1	9～10	被災者は、修繕工事による現場付近歩行者誘導業務中、現場作業員が足場を移動していたため、持ち場を離れて移動先の通路（階段5～6段）に歩行者がいるかどうかの確認を行った。歩行者がいないことを確認して持ち場に戻ろうとして振り返った際、強風に煽られた木製のコンパネ（縦約1m、横約2m）が飛んできたため、咄嗟に右手を出して防ごうとしたところコンパネのふちで右手親指を切り負傷した。	45	522	4	100～299
2017	1	16～17	警備業務に従事していた際、現場は急斜面な坂道に加え、除雪直後も重なり路面が完全凍結していた為非常に滑りやすくなっていた。路面状況を考慮し慎重に業務に従事していたが、足を滑らせ転倒し、その際に胸を強打し肋骨三本を骨折した。	38	416	2	10～29
2017	1	11～12	店舗建築現場において、工事用車両の出入誘導警備を実施中、出入口付近に鉄板が敷いてあるにもかかわらず、その状況を良く確認しないまま小走りに進行した過失により、同鉄板に足を引っ掛け鉄板上に膝をついた状態で転倒し、左大腿骨の骨折を負った。	69	416	2	30～49
2017	1	7～8	作業現場にて、早朝であり、入口に積雪がありその上を歩いたら滑って尻もちをついた。当初はすぐに治るだろうと思い、そのまま仕事を続けたところ、痛みが増していった。	67	719	2	100～299
2017	1	8～9	安全検査実施場所において制限区域立入保安検査実施のため検査対象車両に接近した際に凍結した路面で滑ってバランスを崩し転倒し左手をついたことにより、左下腕部を骨折した。	54	719	2	—
2017	1	5～6	勤務中、トイレの1ヶ所目の鍵を開け、2ヶ所目のトイレに向かう途中、凍結していた道で滑り転倒し、右手首をつき骨折した。	66	719	2	30～49
2017	1	10～11	除雪現場にて重機の旋回を見ていたところ、重機の右側にある民家から車が出ようとしていたので、そちらを向いて停止の合図をしようとした際、滑って転倒し負傷した。	63	719	2	50～99

2017	1	18～ 19	所属している事業所が入居しているビル内に於いて、2階の階段から1階へ下りる際に、階段で足を踏み外して、約10段下に落ちて左腓腹筋を挫傷した。	54	413	1	50～ 99
2017	1	20～ 21	ゲートでの作業終了後、ゲートを閉めようとした際、ストッパーが外れてしまい、扉が閉まって右足に当たり負傷した。	61	418	6	—
2017	1	11～ 12	駐車場において、車の誘導警備をしていた際、昼休憩のため守衛室に戻る時、守衛室前戸の段差3cm位のところでつまずき転倒し、右膝を強打した。	63	417	2	50～ 99
2017	1	21～ 22	駐車場で看板の積み込みをしている時、鉄製の看板を誤って手を滑らせて足に落とし、右足小指を骨折した。	47	521	4	—
2017	1	15～ 16	舗装修繕工事における交通整理業務中に、転圧作業を行っていたコンバインドローラー（4トン）が、後退時に警備員と接触し、右足をローラーの右後輪に轢かれ受傷した。	68	144	7	1～9
2017	1	5～6	勤務先のB1F駐車場出入口近隣で、車両出発準備の為、壁面固定電話を探すべく走っている時、暗闇のため電灯のスイッチを探していた。足元に鉄製の台車があることに気付かず、足が引っ掛かり転倒して右足膝部を強く打撲した。	59	417	2	300～ 499
2017	1	11～ 12	ポリ管取付作業の警備中、作業員に取付先端部の状況確認を依頼され、確認して戻る途中に積雪により凍った路面で足を滑らせて転倒した。	62	417	2	10～ 29
2017	1	17～ 18	巡回清掃中、長靴の底が階段に引っかかり踏み外し転倒した。すぐに痛みは引くと思っていたが痛みが引かず、打撲と診断されたが、歩くのも困難になり、後日に骨折であることが判明した。	68	413	1	100～ 299
2017	1	3～4	規制作業中、南西角の隊員①が第三者に気付いていなかった為、南東角の被災者が声を掛けに行った。規制線のバーを乗り越えた際に右足股関節辺りに痛みがあり、隊員①の所まで行くも歩けなくなった。北西角の隊員が近くにあった台車にのせ詰所に運び、病	64	911	19	30～ 49

			院へ搬送した。				
2017	1	2～3	浄水場において、警備員が夜間巡回中に経路上にある段差に左足首が引っ掛かり、つまずき転倒し、痛みが引かず、後日に骨折と判明した。	55	417	2	30～ 49
2017	1	7～8	警備現場内1ゲートにおいて、敷き鉄板上を移動する際に転倒し、右足首を骨折した。	76	521	2	100 ～ 299
2017	1	9～ 10	洗車機オープン作業のため、洗車機へ向かい作業後、洗車機横地面凍結のため足を滑らせバランスを崩し、地面に右手をつき指を骨折した。	65	417	2	30～ 49
2017	1	4～5	セルフスタンド敷地内において、こぼれたガソリンの清掃作業中に足を滑らせ転倒し、右肩を敷地内コンクリート地面にて打撲した。	57	512	2	100 ～ 299
2017	1	8～9	請負契約業務中、駐車場内巡回中に駐車場内が凍結しており、足を滑らせてスリップ転倒した。	52	719	2	30～ 49
2017	1	18～ 19	勤務先のゴミ収集場に於いて作業中、廃棄用便器が倒れかかり、左手をついて手を痛めた。	75	529	4	30～ 49
2017	1	9～ 10	仕事場について車から下りた時、路面が凍結していて転倒し、足をひねった。	67	719	2	—
2017	1	20～ 21	出社して2階にある無線を取りに行き、外階段で1階に下りる時、手すりをきちんと持たず、足元をしっかりと確認しなかったため階段を踏み外し、滑って転倒し、左肩を骨折した。	73	413	1	—
2017	1	8～9	材料搬入のため交通規制の準備中、のぼり坂をかけ足で移動していた際、右ふくらはぎ後部の筋を断裂した。	56	921	19	—
2017	1	14～ 15	機械警備業務に従事中、警報対応のため現場に入館しようとしたが、玄関前の段差の一部がスロープになっており、その切れ目の部分に足をかけたため転倒し、足首を捻って負傷した。	36	417	2	50～ 99

2017	1	15～16	水道工事の現場において、警備員AはトラックBを車両Cの方向へバック誘導をトラックB車両の右側後方より行い、車両C方向に誘導中、足を滑らせ掘削中の穴に転落した。	68	414	1	30～49
2017	1	13～14	歩道で工事関係車両を誘導するため立哨していた際、走行してきた車両が、コンビニ入口から斜めに歩道に進入し、縁石をまたぎながら走行して来た。当該整備員は奥の車両の動向を確認しており、歩道左側から来た車両に気付いたが避けきれず、加害車両の左前部ではねられ、左足腓骨・脛骨の骨折、靱帯損傷及び鎖骨・肋骨・腰部の打撲の重傷を負った。	55	231	17	30～49
2017	1	13～14	工事車両を工事現場から車道に誘導する作業をしていたとき、急に胸が苦しくなり、その場に倒れて救急搬送され、狭心症と診断された。	45	921	90	100～299
2017	1	8～9	被災者は、夜間勤務を終えて助手席に同乗し営業所に帰社途中、ドライバーの運転ミスにより左側の石塀及び右側のガードレールに衝突し、その衝撃により負傷を負った。	63	231	17	10～29
2017	2	5～6	病院警備員として院内外巡視中、玄関から病院外周を巡視する際、吹雪の吹き溜まりの状態により、路面の段差に気付かなかったため路面の氷面で足が滑り転倒し、右足くるぶしを強打して骨折をした。	78	719	2	100～299
2017	2	11～12	業務で車両で移動の際、信号機のない交差点を右折しようとしたところ前方右側の駐車場からバックで出庫しようとしている車両がいたので、待機していたが、後方確認をせずにバックして来たので、当方車両に衝突し、その衝撃により首を負傷した。	58	231	17	100～299
2017	2	7～8	仮設トイレ前で氷が張っているのに気付かず、被害者が滑り、背中から地面に強打した。	47	719	2	50～99
2017	2	12～13	舗装工事に伴う全面通行止め迂回案内に従事していた。休憩をとろうと、自分の荷物がある場所に移動（徒歩）したところ、U字溝蓋の破損陥没箇所（段差10cm位）に足を滑らせ後方に転倒しU字溝	69	418	2	10～29

			蓋の角に後頭部を強打する。				
2017	2	1~2	就労先での警備巡回中に階段を下りていたところ、足を滑らせ下から3段目より床まで転落し、骨折した。	63	413	1	—
2017	2	20~21	閉門時間になったので、ゲート「L字型・キャスター付き・ノンレール型（7.6m×1.25m）」を押して閉めている最中、閉門位置からずれてしまったので戻そうとゲート先端上部でキャスターの無い側を強く引っ張ったところ、倒れてしまいよけようとしたが左足に当たり負傷した。	55	417	5	10~ 29
2017	2	9~10	業務開始直後、他警備員が障害物にロープをくくりつけていた際、手がすべり後ろに倒れてしまう。その時後ろで見ていた被災者に当たり、被災者が地面に倒れてしまった。受け身を取る為、手をついたが変な体勢でついた為骨折したとみられる。	71	921	6	300 ~ 499
2017	2	8~9	マンション建設工事現場にて掘削際に置いてあった道路標示板を左手で取り出そうとしたところ、誤ってバランスを崩し建設中の基礎杭の鉄筋の上に落下し負傷した。	68	414	1	—
2017	2	10~11	警備持ち場へ歩いて移動中、路肩の縁石を乗り越えたつもりが、縁石に足が引っ掛かり左顔面から転んでしまい、後日病院に行ったところ、頸椎打撲とのことであった。1ヶ月後リハビリをするとの事で、その後は未定。	69	417	2	30~ 49
2017	2	20~21	無線機を使用した片側交互通行の誘導作業中、誘導員の車線変更合図を無視して進行してきた車両に横から衝突されてしまった。	72	231	17	30~ 49
2017	2	17~18	道路上での工事が終了し、規制の保安具を片付けていた際、保安具（カラーコーン1個約2kg）を6個重ね持ち（約12kg）足早出歩行した際にバランスを崩し、股関節を痛めた。	57	611	19	50~ 99
2017	2	14~15	巡回警備業務に従事中、路場にて、車道から歩道に歩いて乗り上げる際に5cm程の段差に躓き転倒し、前のめりに倒れ右膝を擦傷した。	49	417	2	100 ~ 299

2017	2	9~10	就業場所において検査場準備中、テント内のロープパーティションを2本両手で持ち上げた時、腰に鈍痛を感じその直後腰の力が抜けてしばらく動けなくなった。	32	379	19	—
2017	2	4~5	交通誘導中に交替で公衆トイレに行く途中、路上を歩いている時段差に左足を躓き転び左膝を打撲し骨折した。	74	417	2	30~ 49
2017	2	18~19	当該工事現場の場内にて、ゲートの戸締りをしていた際に、場内の単管（地面に埋め込まれた切口がむき出しの状態）に体重がかかる状態で転んで倒れてしまい、右足を負傷してしまった。	46	521	8	—
2017	2	23~24	被災者が道路上で交通誘導警備中に、片側交互通行の工事帯側から走行してきたバイクと道路を横断していた自転車が衝突し、そのまま被災者の方へ来たため、避けきれず、巻き込まれた。	68	231	17	30~ 49
2017	2	13~14	清掃を行っていた。東棟2階にトイレ清掃用具を取りに行くため、階段前防災ドアを開け、通り抜けたところ、足が滑り仰向けに転倒し、頭・背中・腰・尾てい骨等を強打した。	69	413	1	100 ~ 299
2017	2	15~16	構内で列車見張警備業務にあたっていたところ、段差に躓き転倒しそうになった為右足で踏ん張ったところ腰部を負傷する。当日は業務終了後痛みがひどく歩行にも影響が出るほどだったため近くの病院で受診し、後日あらためて自宅近くの病院にて受診する。	47	921	19	100 ~ 299
2017	2	21~22	満車状態になりつつあった駐車場の車の移動をお願いするために、駐車場の縁を歩いて現場に向かっていた時、誤って幅約1m、深さ約1mの溝に左肩から転落し脱臼した。	66	418	1	—
2017	2	10~11	給水管工事の現場にて、工事車両が出ようとしていたので、入口付近に停まっていた車両を移動してもらうため誘導していた時、足場が悪く後ろ向きに転倒し、その際に手をつき負傷した。	63	711	2	30~ 49
2017	2	10~11	現場に向かう為、集合場所（駐車場前）で同乗させてもらった車から降りる際、完全に降りる前に車が発進してしまった為に転倒した。縁石に顔面を打ちつけ顔・口内及び歯を負傷した。	72	231	90	50~ 99

2017	2	11~12	作業現場にて、機械（スリッター）の拭き掃除中、機械に付属する、2本の回転ロールの間にロールの回転中に触れてしまい、右手の甲まで巻き込まれ負傷した。	28	163	7	100 ～ 299
2017	2	8~9	勤務場所（防災センター内）で案内看板を収納する際に防災センター出入口付近に荷物が置いてあり、看板の台座部分が引っ掛かりその弾みで転倒し負傷した。	58	911	2	50～ 99
2017	2	22~23	道路及び川面（堤防改修）工事で作業中、休憩時間の為現場詰所に途中夜遅かった事もあり暗かった事と同時に足を滑らせ腰を強打した。尚、現場詰所までは法面で草も生えていて滑りやすい状態だった。日が続つにつれ痛みが酷くなり3度目の検査において腰に2カ所の骨折状態になり、現在通院状態である。（病院の通告入院が必要の為。）	73	417	2	10～ 29
2017	2	18~19	警備作業を終えて作業車を駐車場に置きに帰った後に駐車場からバイクにて事務所へ戻っていたところ、十字路交差点で一旦停止を無視し直進したため左側から来た自動車と衝突し、負傷した。	44	231	17	30～ 49
2017	2	4~5	非常用設備更新工事に伴うトンネル内の点検整備で、2人で2時間おきに後退しながら点検を行う。1人が点検中、もう1人は車内で待機する。当日は夕方より勤務した。翌朝の後退時にいびきをかいて寝ていたため、起こさず、もう1人が点検に行き、点検後もう一度声をかけた時に異変に気付き、救急車を呼んだ。	63	921	90	30～ 49
2017	2	10~11	市道において、通行規制中の工事現場で交通誘導警備業務に従事していた。反対車線の車両を通行させる為に、北西側カーブの車両を停止させていた。車側からの通行車両が通過の際、何らかの原因で警備員立哨車線側に進入して接触し、警備員は転倒した。その際、右肘裂傷、右肩・右足打撲等で1週間の加療を要する怪我を負った。	63	231	17	100 ～ 299
			片側交互通行による交通規制中、走行してきた普通乗用自動車が、赤信号並びに警備員の赤旗による停止合図に気付かず、規制区域内				

2017	2	8~9	に突っ込んで来たもので、危険を感じた警備員は、咄嗟に路側帯方向に回避したものの車両が衝突した単管バリケードが警備員の方向に吹き飛ばされ、警備員の左足に当たり、負傷したものである。	66	231	6	10~ 29
2017	2	11~12	交通誘導をしている時、立哨している付近のグレーチングがホースと結束していることから持ち上がった状態となったため、その状況が危険と感じ結束していた紐をほどいたところグレーチングが落下し、左足甲を負傷した。	67	391	7	100 ~ 299
2017	2	1~2	ガソリンスタンド内の洗車機付近を巡回中、風で散らかっていたゴミ（レシート）を拾おうとして、足を滑らせ、仰向けに倒れ、尾骨から落ち、肩・後頭部・腰を強打した。	65	417	2	100 ~ 299
2017	2	7~8	通勤中に高速道路を通行中、渋滞していた為、停止しようとしたら前方不注意のトラックに追突された。	63	221	17	10~ 29
2017	2	7~8	通勤中に高速道路を通行中、渋滞していた為、停止しようとしたら前方不注意のトラックに追突された。	67	221	17	10~ 29
2017	2	7~8	通勤中に高速道路を通行中、渋滞していた為、停止しようとしたら前方不注意のトラックに追突された。	62	221	17	10~ 29
2017	2	7~8	通勤中に高速道路を通行中、渋滞していた為、停止しようとしたら前方不注意のトラックに追突された。	60	221	17	10~ 29
2017	2	10~11	現場である河川上流約100mの右岸堤防法面にて、通行車輛等の交通誘導中、リーダーである被災者が相勤者の勤務状況確認のため堤防に登って確認を行った後、堤防から降りる途中で足が滑って尻もちをついてしまい、負傷してしまった。	65	418	1	1~9
2017	3	12~13	勤務中、車両の案内を終えて、その場から離れる際につまずき転倒した。	80	417	2	30~ 49
2017	3	17~18	2階建て住宅の2階窓ひさし部が一部雪の重みでこわれ、その上の雪を下ろそうと脚立にのぼり下ろしていたところ、雪と共に脚立から地面に落下し、腰を強打した。	69	371	1	10~ 29

2017	3	8~9	現場事務所にて打ち合わせのため歩行中、雨天で濡れていた敷きつめられた鉄板の上で転倒し、右手を地面につき右腕を骨折した。	42	416	2	30~ 49
2017	3	15~16	警備員の実務教育時に、河川敷にて誘導旗を真上に上げた際に違和感を覚えた。	67	921	19	50~ 99
2017	3	11~12	お客様店舗前、ルートベン車両金庫室内で膝をつきカセットを取り出そうと右手を伸ばしたところ、少しでも早くカセットを取り出そうと焦っていたため、膝が滑ってしまい、腕を警送品と金庫室床に挟みつつ捻った。	46	611	7	300 ~ 499
2017	3	5~6	夜勤現場から日勤現場へ移動する途中、ポールコーンに接触しバイクが転倒し、顔面を強打して顔面に擦り傷、打撲多数を負い、歯が何本か折れた。	38	231	17	30~ 49
2017	3	21~22	交通規制設置作業時にトラックの荷台でカラーコーンを手渡す作業中、車両が動いたことによりバランスを崩し転倒、右肩と首を打撲する。	36	221	2	50~ 99
2017	3	14~15	道路工事現場にて片側交互通誘導業務中、通行中の自転車に対し一時停止を求めたところ、前かごに乗せていた金属製の杖でいきなり殴りかかってきた。とっさに右腕で顔をかばった際に右腕を強打されるとともに杖で押されて転倒し被災した。相手はそのまま走り去ってしまったため不明である（被害届提出済）。	58	521	99	100 ~ 299
2017	3	20~21	ロータリーにてホテルバスを誘導中、乗用車が入ってきたのでバスの運行に支障にならないよう声掛けしようとした途端、右足ふくらはぎに痛みを感じた。時間が経つにつれ痛みが増し、歩くことも困難な状態となり、右足ふくらはぎの重い肉ばなれと診断された。	46	416	19	—
2017	3	18~19	店舗入口付近にて万引犯に声掛け時、逃走の際に押されて後方に転倒にし、本棚に右後頭部を打ちつけて頭部打撲を負ったが、脳に異常はない。	72	911	2	300 ~ 499

2017	3	10~11	踏切にて信号が青にもかかわらず、（踏切であっても信号機優先で一時停止要らず）、前方車両が踏切で急ブレーキをかけたため、隊員も急ブレーキとなり、左足を強めに道路について骨折した。	35	231	17	10～ 29
2017	3	14~15	就業場所（建設現場）にて歩行者及び車両誘導業務中、休憩交代の為、現場ゲートに立哨位置を変更しようとした時、ゲート前の土に足をとられ転倒した。転倒するとき、とっさに左手で植え込みの縁石をつかもうとして、縁石の角の部分が当たり被災した。	71	417	2	300 ～ 499
2017	3	11~12	交通誘導2級講習を受講していたところ、講習中の教室移動の際、廊下の段差に誤って躓き転倒し、膝を強打し負傷した。	58	417	2	10～ 29
2017	3	15~16	現場にてトレーラーを誘導する際、側溝の段差につまずき、右手について倒れ、右手親指を骨折した。	36	419	2	50～ 99
2017	3	13~14	被災者は、付近での列車見張り業務の為、（貨物ターミナル駅）の門扉から入り現場に向かって線路上を歩いていた際、付近線路のトンネル入り口において、線路を横断したところ、何らかの障害物により足を取られて躓いて転倒した。その際、左足を強く地面に打ちつけたことで、履いていた安全靴内部の保護プレートと左足の指が強くぶつかり負傷した。	58	417	2	100 ～ 299
2017	3	19~20	勤務交替の為、待機所を退出する際、4段階で1段足を踏み外し受傷した。	37	413	19	10～ 29
2017	3	13~14	コンパネを敷いて歩行者誘導を行っていたところ、自転車が2台向かってきたので慌てて対応しようとした時に、足を滑らせ掘削した穴に転落して負傷した。	63	414	1	50～ 99
2017	3	9~10	機械棟より三輪スクーターを運転して、業務駐車場に向かって坂を下り左折したところ、排水溝の金属部で後輪がストップし左側に転倒し、左肩部分を強打して救急搬送され、左鎖骨骨折と診断された。	60	231	2	10～ 29
			被災者は幅が狭い道路にて、住宅保守工事の警備業務中、工事用車				

2017	3	10~11	両（バケット、以下バケット）の側で歩行者及び車両誘導を行っていた際、軽車両の運転手から道路を通行しようとしたが、道路幅が狭く、バケットがあることで通れないと言われたため、バケットを移動させ、被災者も移動した。被災者がバケットの側へ向かったときに軽車両がバックし、被災者の左足首にタイヤが当たり負傷した。	66	142	6	50～ 99
2017	3	11~12	国道脇の除雪作業の交通誘導の作業中、走行してきた軽ワゴン車にはねられ、頭部・胸部・腹部・骨盤・上肢・下肢を負傷した。	72	231	17	1～9
2017	3	12~13	駐車場で昼休憩の為、同乗した車の助手席でカップ麺にポットからお湯を注いだあと、ダッシュボードに乗せる際、膝に挟んでいたフタの開いた状態のポットが前に倒れ、左足の安全長靴内に熱湯がこぼれ、左足足背にやけどを負う。	64	379	11	50～ 99
2017	3	17~18	自動車道で車線規制に伴う交通誘導警備業務を終了し、工事車両に乗車しようとして移動中、路面上に小さな段差があり、右足をとられ右足首を捻挫した。	31	419	2	10～ 29
2017	3	21~22	勤務を終え営業所へ戻る途中、交差点でのスリップ単独事故である。当日は降雪で、路面も積雪状況であった。緩い下り坂で信号が黄色に変わるのを確認し、減速の為ギアを下げた際スリップし、道路左側の電柱に衝突した。	34	231	17	50～ 99
2017	3	1~2	自転車に乗り巡回警備中、左に旋回しUターンを試みたところ、ハンドルを切り過ぎ左側に転倒した。急な出来事であったため足や手をつく事ができず、左肘から地面に倒れた。	62	362	2	30～ 49
2017	3	17~18	勤務先保育所の砂場にブルーシートを掛ける作業を行う際、後退した時に後方に木製のイスがあることに気付かず、足を引っ掛けて後ろ向きに転倒し、右足大腿部を負傷した。	75	417	2	500 ～ 999
2017	3	15~16	道路の舗装工事に伴う交通整備作業を行っていた際、工事用のローラー車が後進してきたのに気付かず、ローラー車の後輪に右足を踏まれ転倒し負傷した。	65	144	7	1～9

2017	3	11~12	片側交互通行のため2名で規制をしていたところ、男性運転手がぶつかってきた。本人は少しよけたが、その方向に向かって来て、田んぼに落ちた。	46	231	17	10～ 29
2017	3	16~17	車両から降りる際、入金機カセットを持って降り、地面に着地したときに足元を確認せず降りたため、コンクリートの段上（3cm）に足が引っかかり、足を捻って後ろ向けに転倒し、右足首を骨折した。	55	419	3	100 ～ 299
2017	3	10~11	当日作業が中止になり帰社し、当社第3駐車場で車から降りた際、車両とフェンスの間が狭く、車両左側後輪の下に右足が入っているのが分からず前進し、右足甲を轢いて骨折した。	46	231	7	10～ 29
2017	3	6~7	第一当事者が運転する車両が後方からクラクションを鳴らされたことにより、方向指示器を出さずに急に右車線へ車線変更した際にスリップし、右車線走行中の第二当事者の車両左前方と接触し横転し、第一当事者が負傷した。	68	231	17	1～9
2017	3	10~11	業務が終了し、原付バイクにて帰宅中、渋滞していた車列の間から飛び出し、北進してきた軽トラックと衝突する。	18	221	17	50～ 99
2017	3	0~1	交通誘導警備に従事していたところ、前方確認を怠った軽トラックに衝突され、左足関節開放骨折及び脾損傷を負い救急搬送された。	37	221	17	50～ 99
2017	3	12~13	業務を終了し、焼結事務所2階で伝票にサインをもらい、北階段を使用して1階に下りて帰ろうとした時、階段最下部にある泥落としマットにつまずき転倒し受傷した。	73	417	2	50～ 99
2017	3	11~12	工事現場にて警備をしていた際、業務でカラーコーン2つを仮設足場の上に設置した後、仮設足場から降りる時に仮設足場（歩道から約1mの高さ）に座り歩道に飛び降りたところ、着地した際に腰のあたりがグギっとなり、体勢をくずして臀部から転倒した（第二腰椎圧迫骨折）。	68	411	3	10～ 29
			センター内で残留チェックが終了し、入金機カセットが入ったカゴ				50～

2017	3	23~24	台車を運搬していた時に、車輪に不具合があったためバランスが崩れ、台車が倒れて左足が下敷きになった。	34	362	7	99
2017	3	19~20	駐車場への案内誘導を行っていた際、50m位先に車両が見え、20m位手前まで来たときに車両との接触を避ける為、後ろ向きに下がった。事前に側溝の開口部があることは認識していたが、後ろ向きであったため目測を誤り、深さ1m・巾60cm程の側溝に転落し、左足をくじいてしまった。その時はあまり痛みが無かった為、業務終了時間まで業務を続けたが、翌日、痛みで歩けなくなった。	62	418	1	30~ 49
2017	3	11~12	被災者（以下、「甲」という）は、監視業務（船舶に乗り、工事現場海域へ進入する船舶等がないか警戒・監視する業務）に従事していた。甲は甲板に座っていた際に横波を受け、船舶が右に大きく傾き、バランスを崩し尻もちをつき、右手を甲板に打ちつけ負傷した。	47	239	2	100 ~ 299
2017	3	12~13	勤務中、お客様の建物倉庫内で緊急対処していたところ、1Fへ下りる際に階段を踏み外してしまい、2Fから階段踊り場まで滑り落ち、床へ強打した。	39	413	1	10~ 29
2017	4	11~12	当社事務所内でパソコン設置及び配線作業中、事務机（110cm×70cm×70cm、約60kg）の裏側（後方）に配線をするため、事務机を手前方向に約50cmを1人で移動しようとしたところ腰を痛めた。	30	391	19	50~ 99
2017	4	14~15	大旗を振り交通誘導を行っていたところ、突風に煽られ握っていた旗の軸を身体の後方に引っ張られた。	50	379	19	100 ~ 299
2017	4	14~15	工事帯内から道路上の一般車両の流れを確認していたところ、バックしてきたユンボが被災警備員に気づかず、被災警備員の右足に乗り上げ負傷した。	47	142	6	50~ 99
2017	4	23~	駅構内のエスカレーター下にて旅客誘導業務に従事中、駆け降りてきた旅客に左肩に追突され、隣を歩行中の女性客に追突した際に自	41	921	19	50~

		24	身と女性客をかばおうと右足を踏ん張り、右足関節を捻挫した。				99
2017	4	22～ 23	営業終了後の閉館作業中、ドアクローザーが故障して開放状態の扉を施錠するため、ドアストッパーを外した際、急に閉まってきた扉に左手中指を挟んだ。	58	419	7	500 ～ 999
2017	4	17～ 18	警備先の大規模改修工事の就業を終えた後、通常はそのままバイクで帰宅するが、当日は支社に届ける書類があったため、支社に立ち寄る途中の路上交差点内を直進中、対向車が突然右折をしてきて衝突した。	56	231	17	10～ 29
2017	4	20～ 21	トラック荷台から発電機を降ろした際に、左足に違和感を感じる。痛みが治まらず、後日に肉離れと診断される。体勢が悪く、左足に体重が強く掛かってしまったと思われる。	37	612	19	50～ 99
2017	4	15～ 16	看板の撤去作業をしている際に、資材車の荷台にて看板の受け取りをしていたところ、左手が負荷に耐え切れず捻ってしまう。	55	379	19	50～ 99
2017	4	10～ 11	埠頭内において警備業務従事中、公衆トイレで用足しの後、自転車で持ち場へ戻る途中転倒し、左手首を骨折した。	54	417	2	10～ 29
2017	4	19～ 20	休憩のため2階管制室より1階に下りる際、階段の5段目を踏み違えて右足首を負傷した。	25	413	2	100 ～ 299
2017	4	21～ 22	病院の巡回業務において3号館の5階から4階へ下る際、踊り場まであと3段の所で踵をスリップ止めに引っ掛け、前のめりに踊り場へ転倒し、手をついたが顎肩胸を打ち負傷した。	51	413	1	500 ～ 999
2017	4	11～ 12	歩道のマンホール規制警備中、フェンスの鎖に足を引っかけた際に左足から前向きに倒れ、左足と手を強く地面に打ちつけた。	67	417	2	30～ 49
2017	4	8～9	業者との集合場所から現場に向かってバイクで走行中、忘れ物に気付き集合場所に戻る途中、バイクが滑り顔面から転倒し、全身を強く打った。	73	231	17	30～ 49
			場内を自転車により定時巡回を開始したときに転倒し、左肩に痛み				10～

2017	4	4～5	が生じた。	79	921	2	29
2017	4	16～ 17	トンネル土面整備警備勤務中、誤って転倒し、頭部を強打した。	72	417	2	50～ 99
2017	4	9～ 10	車を誘導中に自転車にぶつかりそうになり、とっさに駐車場花壇に飛び乗ろうとし、雨で足を滑らせて転倒し、顔面右側及び右肩等を強打して鎖骨骨折した。	39	418	2	30～ 49
2017	4	4～5	被災者（以下、「甲」という）は、応援勤務のため出入管理業務に従事していた際、閉鎖していたゲートを開放するため右足を踏ん張ったとき、右ふともものあたりに激痛を感じた。	56	921	19	100 ～ 299
2017	4	13～ 14	新築工事現場にて、洗面場の手洗いせっけんを補充するため現場内歩行中、開口部に気付かず落下し、自力で這い上がりしゃがみ込んでいたところを発見された。	67	414	1	10～ 29
2017	4	20～ 21	館内巡回中、2階から1階に下りる階段において上段にて足を踏み外して転落し、体勢を立て直そうとして再度下段に転倒する。	34	413	1	30～ 49
2017	4	17～ 18	ガス工事に係る交通誘導警備をしていたところ、片側交互通行で対向車両が向かってくるため、遠くに見えた車両に停止するよう合図したが、車両の運転手は気付かず前進を続け、接触してしまった。現場は、直線道路の緩やかな下りで、運転手の脇見による事故だった。	69	231	17	10～ 29
2017	4	17～ 18	市道にて通信工事に伴う交通誘導業務中に、西より一般車両が接近してきたので保安柵内にて移動した。その時、作業車両のアースコードに足が引っ掛かり転倒し、右足を負傷した。	66	149	2	100 ～ 299
2017	4	1～2	ご契約先マンションで確認対応後、現場離脱する際に屋外の螺旋階段から足を踏み外して滑り落ちた。（3Fのおどり場から2段下りた辺りから、2・3階のおどり場までの約6段ほど。）次の現場に向かうために焦っていたことが原因である。	44	413	2	10～ 29
			農道に停めていた狭いスペースで、後部座席に荷物・雨カップパを入				

2017	4	17～ 18	れ、右手で運転席のドアを掴み、左手にて後部座席のスライドドアを閉めたところ右手が滑り、約1.5m下の野原へ落下し骨折した。	67	419	1	50～ 99
2017	4	17～ 18	作業終了後、資材保管場所より帰宅する際に、資材保管場所と歩道を保安用資器材（カラーコーン）で区別しているが、本来またいではいけないカラーコーンバーをまたいで転倒し、右足を負傷した。	72	417	2	30～ 49
2017	4	9～ 10	バス停前において交通誘導警備中、電線工事車両（トラック）の誘導のため後ろ向きで後退している際、段差につまずき転倒し、左足首を負傷した。	59	416	2	100 ～ 299
2017	5	14～ 15	被災者（以下「甲」という）は、就業場所にて車線規制誘導業務に従事していたところ、車両（脇見運転をし、工事帯に気付いていなかった）が被災者がいる工事帯側に突っ込んできたため、咄嗟に歩道側へ逃げた際に転倒し、腰を負傷した。	59	417	2	50～ 99
2017	5	6～7	出勤する時、駐車場から現場まで歩いている途中、敷地内（外側）で下り階段とスロープが一体となっている場所で、スロープ部分を歩いていたら階段の段差に左足を踏み外し、手をつきながら前へ転倒した。	39	417	2	10～ 29
2017	5	20～ 21	バックヤード内にて、飲料水を積んだ荷物用カートを移動中、カートへ背中と首を接触した。痛みと違和感を感じたが、直ぐに治ると思いそのまま下番まで勤務を継続したが、帰宅後に痛みが強くなった。	75	362	3	30～ 49
2017	5	17～ 18	配水管整備工事の現場で、作業終了時、自転車で工事看板撤去・回収をしていた時にバランスを崩し、左に倒れ左足首を捻った。	48	239	17	50～ 99
2017	5	13～ 14	剪定作業現場にて、歩行者及び車両の誘導業務中、剪定中の高木の枝が落下し足に当たり被災した。尚、立哨位置は剪定作業のバリケード内である。	22	712	4	100 ～ 299
			駅構内で交通誘導警備に従事していたが、作業員が重量物の載った台車をスロープの上りで押していたので、手伝おうと近寄ったところ				300

2017	5	3～4	ろ、台車の車輪の前に右足が入ってしまい、右足甲部が轢かれ負傷した。	47	362	7	～ 499
2017	5	23～ 24	管理マンションの理事会終了後、自宅へ帰宅途中、駅の階段を降りていた際に左足ふくらはぎがブチッとなり激痛が走り、普通に歩けなくなった。	43	413	19	300 ～ 499
2017	5	15～ 16	被災者は、施設警備業務中に、立哨場所から現場の警備本部に自転車で移動していたところ、停車時に運転操作を誤り転倒した。原因は不注意によるものと思われる。	53	362	2	30～ 49
2017	5	14～ 15	業務センターの作業台で商品の検品中に別の作業台で電話が鳴ったが誰も出ない為、急いで向ったところ、足元のボックスに躓き、側にあったステンレスの棚に脇腹をぶつけて転倒した。	61	417	2	100 ～ 299
2017	5	10～ 11	午前中、現場に向かい出発し、車線上にて転倒したが、そのまま現場に向かい、現場に到着した。終業後も痛みが引かなかった。	55	417	2	300 ～ 499
2017	5	23～ 24	館内2階の宴会場で室内ダウンライト機具の球切れ交換作業をしていた。1.7mの高さの脚立の天板に乗って作業してしまったため体が振れて落下し、倒れた脚立で左足脛を裂傷した。	65	371	1	1～9
2017	5	3～4	規制撤去時、トラック荷台にLED表示板をのせる際、3名で行っていたが重量の見込みを誤り腰を痛める。	54	391	19	50～ 99
2017	5	16～ 17	外通路で移動中に縦20cm、横60cm、高さ80cmの白い仕切りに、話に夢中で前を見ていなかったためにぶつかり、転倒した際に左手をつき、右肘を強打した。	24	419	3	10～ 29
2017	5	13～ 14	工場2地区内工内通路を自転車で移動中、進行方向から右折しようとした際、雨上がりで濡れていた四角いマンホールの蓋で滑り、自転車及び自身が転倒して左肘を強打した。	46	362	17	100 ～ 299
2017	5	11～	水道工事で一車線を規制して誘導中、左折車があり、脇道からも車両が来たので、左折車に止まってもらう合図をしたが、止まらず左	40	231	17	1～9

		12	折したのでよけたが、車の左側に右肘が当たり負傷した。				
2017	5	16～ 17	上下水道の工事現場で片側交互通行の誘導の最中、一般車と散水車を停止させている時に散水車が後退してきたため、後退しながら振り向いた時にグレーチング（金属の網板）に右足がはまり転倒した。右手に手旗、左手に停止板を持っていたため、手をつけずに右膝から転倒してしまった。	58	419	2	10～ 29
2017	5	17～ 18	工場内を警備巡回中に足を滑らせ転倒し、頭部を床にぶつけて負傷した。その後も巡回を続けたが出血があった。	69	416	2	500 ～ 999
2017	5	13～ 14	勤務中トイレに行く際、段差で躓き左膝を強打し骨折した。	74	417	2	10～ 29
2017	5	13～ 14	就業場所にて清掃作業中、外部階段の2階から1階へ降りる際に、階段のステップに足をとられ、3～4段分滑り落ちた。両手に荷物を持って降り、手摺りを持っていなかった。当初は腫れているだけだったが、痛みが治まらず、右足小指骨折であると分かった。	66	413	1	50～ 99
2017	5	8～9	朝礼後、現場出入口ゲートを開けていた際、ゲートが倒れかけたので支えようとしたが、支えきれずゲートの下敷きになった。ゲートを起こしたが、被災者は倒れたまま腰の痛みで動けない状態だった。原因として、ゲートと単管支柱に固定してある接続金具が外れたことが考えられる。	55	419	5	30～ 49
2017	5	8～9	事務所から現場にバイクで向かう途中、交差点で右折待機中の普通乗用車があり、減速して通過しようとしたところ、直前2～3m手前で右折を開始したため急制動の措置を取る暇もなく車両左側前部に衝突した。	58	231	17	50～ 99
2017	5	11～ 12	現場内でケーブル移設工事に伴う交通誘導、現場の生コン車が入りするので、通過時は道幅が狭いため、バケット車を移動させる整備を実施していた。坂上から坂下に移動中、石か草に足をとら	68	417	2	1～9

			れ、頭から転倒しそうになったので左肘で止めた。				
2017	5	8～9	標識車への規制標識の積み込み作業が完了した為、右手で規制標識を掴み、あおりに足をかけて荷台左側から降りようとしたところ、規制標識がぐらついた為に体勢を崩して背中から地面に落下した。肩に痛みがあったが、その後、痛みが治まらなくなった。	65	221	1	10～ 29
2017	5	4～5	中学校の巡回警備中、深夜に警備車両を停止し駐車場にて仮眠休憩をとるため、運転席のシートを倒して仮眠をとり、朝方に車両シートを引き上げ、仮眠休憩を終えて起き上がる際に、車両のハンドルに右足指を打ちつけ負傷した。	49	231	3	100 ～ 299
2017	6	15～ 16	交通規制現場で交通誘導警備が終了し、車で付近の集合場所に向かう途中、誤って車が左に寄り過ぎて、防雪柵に車体左側が衝突して車が回転し、運転していた被災者がその衝撃で頭部を打撲した。	29	231	17	100 ～ 299
2017	6	16～ 17	片側通行の交通誘導業務に従事中、進行して来た乗用車が徐行する様子も無いので咄嗟に逃げたが、その時矢印板が飛んで来て、当該交通誘導員の右足首に強く当たり、右足踝を骨折した。又、乗用車は工事関係者の車両に衝突し、3台の車両に損害を掛けた。	71	231	17	50～ 99
2017	6	23～ 24	中学校校舎内にて巡回警備をしていた時に、2階から1階に階段を移動中、少し駆け足で階段をおりて、階段を踏み外して転倒した。	53	413	1	50～ 99
2017	6	11～ 12	建設工事現場における交通誘導警備業務に従事中、気分が悪くなって敷地内の壁に寄り掛かっていたが、意識を失い、前のめりに倒れて、顔面を路面にぶつけた。気象庁観測値によると、当時の気温は24.1℃、湿度は51%であった。	61	715	11	100 ～ 299
2017	6	11～ 12	道路工事の片側交通誘導警備中、工事現場からバックフォーが道路上の工事箇所に出るため誘導を行った。バックフォーが停止したことを確認し、そのまま片側通行規制の交通整理に戻り立哨していたところ、そのバックフォーが道路上で曲がりきれず方向転換しようとした時に、警備員が近くにいたことに気がつかず、右足付近にバックフォー右側後部のキャタピラーが接触し負傷した。	65	142	6	10～ 29

2017	6	10～ 11	片側3分の2を規制する現場で、反対車線にもはみ出すので、一人で片側交互通行の誘導を実施した。規制側の車両に停止の合図を出した後、反対車線の走行車両を確認するため、後ろ向きになった。そして振り向いた瞬間に、車が被災隊員に接触し倒れたところ、左足を轢かれた。その場から救急車で搬送された。	44	231	17	100 ～ 299
2017	6	10～ 11	放置車両の確認業務中、車両の持ち主が戻って来たので、話をしようとして振り向こうとした際に、雨で濡れていた路面で足が滑り、尻もちをつく様に転倒してしまった。	61	418	2	500 ～ 999
2017	6	16～ 17	放置自転車撤去作業に従事中、搬送のトラック荷台から飛び降りた際に、踵を痛めて負傷した。	61	221	3	50～ 99
2017	6	17～ 18	キャンパス正面受付で、大きい蛇が出たと学生が騒いだため、イノシシ退治で使用する棒で追い払おうとしたところ、蛇が威嚇してきたため後退した際、正面玄関前辺りのタイル面に尻もちをつき、腰を強打した。	70	719	2	50～ 99
2017	6	10～ 11	バスターミナルで、降車してくるお客様に歩行者通路への案内、及びバス道路への侵入防止業務についており、この時も停留所に進入してきたバスの左後方で待機していた。バスが停車し扉が開くと、先頭で降車した男性客が、バス道路を横切ろうと小走りで向かってきたので、歩行者通路を案内しようとしたところ、男性客の右肩が胸に当たり、後方に飛ばされるように仰向けに転倒した。その際、左腕を擦り剥き、右腰辺りに痛みを感じた。	68	911	90	10～ 29
2017	6	18～ 19	定時の外周巡回点検業務中に、依頼された落下物回収作業中、資器材の活用や応援要請などをしていなかった為、その結果、約3m下に滑落して、本件受傷に至ったものである。	39	419	1	50～ 99
2017	6	15～ 16	工事現場にて交通誘導作業中、現場内を移動している時に、誤って道路脇の側溝に右足が挟まってしまい、転倒した。転倒した際に右足首を強く捻ってしまったため、右足首を負傷した。	58	417	2	30～ 49

2017	6	19～20	本社バース内で、積載されたUT台車を運搬している時に、床の段差（穴）にUT台車のタイヤが乗ってしまいバランスを崩し、UT台車を横の状態で移動させたこともあり転倒し、右足首が台車の下敷きになり打撲した。	35	362	7	500～999
2017	6	8～9	受傷者は、工事現場へ向かうため、事務所を出て階段を下りる際、足を滑らせて階段の真ん中付近から下まで転落し、右足の足首の上と腰の部分を骨折した。尚、当時は雨が降っており、受傷者は長靴を履き、両手に業務用の荷物を持ちながら階段を下りていた為、不安定な状態であった。	36	413	1	10～29
2017	6	16～17	取引先の敷地内駐車場において、工事車輛を後進誘導中、背面歩行をしながら、後ろの安全確認をする為に首だけを後ろに向けた時、腰を捻って無理な体勢になったことで腰に強烈な痛みを感じた。	45	921	19	30～49
2017	6	15～16	街路樹剪定工事における交通誘導を行っている最中、のどが渴いたので、足元に置いていたお茶（水筒）を取ろうと屈んだ時にバランスを崩し、右膝をついた体勢で尻もちをついたため、右足をひどく捻ってしまい、右腿を負傷した。	69	417	2	100～299
2017	6	15～16	ガス工事現場で掘削中、民家の駐車場から出る車を誘導しようとした時、誘導に夢中になり、ガス管理設用の穴を掘ってある事に気付かず、そのまま穴の中に両足から変な落ち方をした為、両足を怪我した。特に右足の腫れが酷くなった。	28	417	1	30～49
2017	6	9～10	道路での勤務に就いた時、ダンプの荷台から飛び降りた際、路上アスファルトに右足かかとを強打し、骨折をしてしまった。	63	221	3	50～99
2017	6	6～7	一車線を規制する工事で、警備をする為に事務所兼工場に集合し、現場へ行く予定であった。集合場所の駐車場に車両を止め、待機場場に向かっていた時、雨で滑って転倒し負傷した。	57	417	2	30～49
			交差点付近、舗装工事における片側交互通行作業に従事していた。片側交互通行の際、交差点付近に立ち、一般車が無かったので、同作業員に止めていた一般車を流して良いとの合図を出し、流し始め				

2017	6	16～ 17	た時に右折車に気付き、工事規制付近に1台分誘導出来るスペースがあったので誘導している最中に、流れてくる一般車に気付かず、右足を1歩後ろに下げた時、一般車に足を轢かれて後ろに転倒した。立ち上がった時には、その一般車はいなかった。	31	231	17	10～ 29
2017	6	13～ 14	片側交通規制をし、交通誘導をしていたところ、停止中の先頭車両に後方より前方不注意の車両が追突し、続いて誘導中であった警備員が同車に撥ねられて負傷した。	63	231	17	100 ～ 299
2017	6	14～ 15	交差点付近、片側交互通行規制内で、トイレのためトイレカーで用を足した後、トイレカーのステップを降りる時に足を滑らせ、右足首を捻挫した。	56	231	1	50～ 99
2017	6	9～ 10	駐車場にて車両をバック誘導の際、車道走行中の車と接触した。	59	231	17	10～ 29
2017	6	10～ 11	施設警備業務従事中の休憩時間に、健康診断を受診する為、検収口の荷捌きから牛乳ケースの空箱に足を掛けて降りようとした時、足を踏み外して転倒した。転倒した際にレントゲン車のドアの部分で右額を切り、出血した。救急車を呼び、搬送してもらった。	62	379	3	100 ～ 299
2017	6	21～ 22	規制準備のため、看板ウェイトを持って車両が接近していないことを確認後、歩道側から中央分離帯へ横断中、追い越し車線を走行して来た乗用車左側面と接触した。接触直前に車両に気付き体を反転し、車両に対して正対し、仰向けに倒れ込んだ。その際、左足甲が車に接触し受傷した。	65	231	17	30～ 49
2017	6	14～ 15	道路側壁草刈り作業施工の為、交通誘導に従事中、大型ダンプの通路を予見し路肩へよけようと後ろの草むらに一步下がったところ、実際には路肩がなく、崖になっており転落した。木に引っ掛かり、約3m下に投げ出されたが、現場にあった共同植木のユンボがアームを下ろし、それに掴まって引き上げられた。その際、右肩を強打したが、その日は整備を続けた。翌日朝、首が回らず肩の	70	417	1	10～ 29

			痛みもあった。				
2017	6	9～10	国道高架下、道路横路盤工事において、道路停止中のダンプの前方にて、歩行者等の安全確認中、後方に一步下がった時に道路横の溝（高さ約1m、幅約50cm）に転落した。	65	418	1	10～29
2017	6	3～4	帰社後、資器材の片付けをしている際に、玄関の段差に気付かず足を踏み外し、捻って負傷した。玄関の照明は点灯しておらず、足元が見づらく段差に気付かなかった。	47	417	19	30～49
2017	6	8～9	被災者は、就労先にて、監視業務（船舶に乗り、工事現場海域へ侵入する船舶等がないか警戒・監視する業務）に従事していた。就労中被災者は、アンカーを交換するため、そこに結んであるロープを外そうとカッターで結束バンドを切ろうとしたところ、誤って右手小指を切ってしまった。	47	364	8	100～299
2017	7	9～10	一人でマンホール内作業に伴う交通誘導中、左折する車両を誘導するため車道上から歩道上に移動しようとした際、歩車道境界ブロックに気づかずにつまずき、後ろ向きに転倒して左腕から地面について負傷した。	44	417	2	100～299
2017	7	9～10	コンビニでトイレに入るため駐車、降車した際、車のドアに手を挟み負傷。	59	417	2	1～9
2017	7	2～3	歩道地下でケーブル張替工事を行っていたが、部材不足で一時中断し、3人が歩道上の一緒の場所にいた所へ、走行してきた車両が2人をはねて、歩道の作業車へ追突し反対車線で停止した。警備員は車道へ飛ばされ骨折した。	25	231	17	50～99
2017	7	23～24	夜間現場の鉄塔付近で、被災者は、列車の監視をする列車見張員として作業現場へ向かって移動中、雑草の生い茂った法面上部を歩いていた。被災者は、濡れた雑草に足を滑らせ法面下部の道路脇の擁壁1.3mから転落して受傷した。	43	418	1	50～99
			現場にて立哨作業中、工事車両が入ってきたので、車が現場に入れ				

2017	7	8~9	るように、道路に設置されていた単管バリケード（連結されていた）を1人で持ちあげて動かそうとした。その場には本人しかおらず車も進入しようとしていたため、急いでバリケードをどかさなくてはと思い、バリケードの真ん中部分を持ちあげようとしたが重くて動かなかった。そのため、連結されたバリケードの端を持ち、中腰でバリケードを持ちあげながら後ずさりして引きずり動かそうとした時、背中に激痛が走り呼吸困難になった。その日は我慢して終業まで勤務したが、痛みがとれなかった。	77	921	19	50~ 99
2017	7	7~8	ビル巡回のため、バックヤードの地下に通じる階段を降りはじめ、階段最下部で足を踏み外し転倒した。自宅に戻る途中に足の痛み（右足首）を感じ始める。帰宅しても痛みが引かなかった。「足首にひびが入っており、6週間の自宅安静を要する」と診断される。	66	413	1	1~9
2017	7	16~17	5差路横断歩道付近にて、バックホーが置き場へ戻る途中、停止したため他の警備員と片側交互通行をしていた。5差路、横断歩道があり、夕方、自転車の通行もあるため、バックホーの運転手も下車していたので、重機に近づき片側交互通行をしていた。後進する合図もなく、後退してきたバック・ホーに轢かれ死亡した。	70	142	7	10~ 29
2017	7	11~12	交通誘導業務の休憩中、座って水分補給を行い、立ち上がったところ、立ち眩みがし、後方にある鉄板に背中をぶつけ負傷したもの。	72	521	3	50~ 99
2017	7	10~11	被災運転者は航空燃料送油沿線を車両巡回中、交差する道路を横断する際に一時停止の標識に従い停止線で停止した後、前方に設置されたミラーで左右を確認しようとしたが右側が見えなかったため注意をしてゆっくりと前進して右側を確認しようとしたら、回送路線バスが迫って来ており回避する間もなく衝突し負傷したもの。	37	231	17	1000 ~ 9999
2017	7	11~12	訪問先の駐車場にて診療道具を片付け、ドアを閉める際に、自身の頭にドアをぶつけてしまった。	52	362	17	10~ 29
			バイクで転倒しているスタッフがいたので助けようとバイクで起こ				100

2017	7	8~9	そうとしたところ急な坂のためバックしてきてささえきれず尻餅をついた。（病院の敷地内において）	64	231	19	～ 299
2017	7	13~14	製品倉庫内でフォークリフトを使用して製品の積み込み運搬作業中、保管ラック上段への積み込み後、フォークリフトのマストを下げ忘れ、上死点まで上昇した状態でバック走行をしていた時、倉庫天井の鴨居にマストが衝突。その衝撃でフォークリフトが前方に倒れ、その反動でオペレーターがバック走行していた方向に投げ出され、倉庫床面に背中と左肘を強打した。	67	221	6	100 ～ 299
2017	7	11~12	飛天馬上にて、電動サンダーで鉄管を切っている時に、鉄管にはじき返された電動サンダーが顔面を直撃した。手が当たったが顔面を切りつけてしまったと思い、咄嗟に電動サンダーから手を離してしまい左大腿部に落下し、高速で回転するディスク部分により裂挫創となったもの。	27	911	90	—
2017	7	15~16	外出のため、事務所を出た時、雨のため濡れていた玄関ポーチで足を滑らせ転倒した。その際、左足首を骨折した。原因雨のため滑りやすくなっていた事に気付かず、小走りに不用意に歩いたため。	65	521	2	10～ 29
2017	7	15~16	外出のため、事務所を出た時、雨のため濡れていた玄関ポーチで足を滑らせて転倒した。その際左足首を骨折した。原因雨のため滑りやすくなっていた事に気付かず、小走りに不用意に歩いたため。	65	221	6	10～ 29
2017	7	12~13	地下工場資材搬入口にて、ゴンドラ上で資材搬入作業中、ゴンドラが超過重で降下し始めたため、待避しようとしたが、間に合わず、ゴンドラ上部枠と縦穴基礎部分に腰部を挟まれた。	45	921	19	100 ～ 299
2017	7	9~10	当社宿舍の空き部屋を従業員3人で清掃中、後ろ向きのまま後ずさりをした時、備え付のベッドの角に臀部（肛門部）を打ち尿道損傷を負った。	40	221	19	50～ 99
2017	7	1~2	作業終了後、基地内に戻りヤード内車庫入れ時標識車を後進誘導していた。その際バランスを崩し後方に倒れた。その際、左手をつき受傷した。	64	921	2	300 ～ 499

2017	7	1~2	現金補填作業終了後、第3駐車場内にて駐車中の現送車の助手席に乗車しようとした際、右手をピラーにある持ち手に掴まり右足を助手席床面に乗せようとした時左膝に強い痛みが生じたもの。	49	221	19	100 ～ 299
2017	7	13~14	建物玄関前（外）立哨中、気分が悪くなり、同僚警備に連絡。同僚警備員が駆け付けた時には昏倒していた。当時は晴天で気温は30度を超えていた。	59	921	2	300 ～ 499
2017	7	1~2	勤務を終え（社内の）ロッカー室で着がえるために立ち上がった際にバランスを崩して転倒し、右足をひねったものである。	42	921	2	10～ 29
2017	7	15~16	金庫室への入口において、硬化等の積み込まれた籠型台車（幅110cm高さ173cm奥行80cm320kg）を入庫する際、入口の段差（約1cm）にタイヤが引っ掛かり台車ごと転倒。重いものが上段に入っていて重心が高く、安定が悪かった。籠型台車が正面から倒れてきて下敷きとなり、足首を骨折した。	42	362	2	100 ～ 299
2017	7	10~11	被災者は、就業場所にて現場ゲート前で歩行者誘導業務に従事していたところ、目の前で一般車両とバイクの事故が起き、バイクの運転手が被災者の元に飛んできたため、避けきれず負傷した。	65	231	17	50～ 99
2017	7	11~12	「第三者行為災害」横断歩道上で歩行者及び自転車等の誘導中車道を渡って来た自転車に後方から激突され、そのまま転倒し頭から地面にたたき付けられ気絶してしまった。誘導場所、誘導位置には問題なかった。	65	239	6	—
2017	7	11~12	寮横にある駐車場において草とりをしていた。ゴミステーションまわりの草が気に入り素手で草を抜く。かたかったので力を入れてひっぱった時小指を切ってしまう。あと少しでそうじが終了だったのでそのまま続ける。2日～3日したら左手がひじ近くまではれてしまい、中指、薬指、小指が激痛。	67	719	8	50～ 99
2017	7	16~17	工事現場でダンプの交通誘導にあたっていた。運転手より業務終了の署名をすると呼びかけられ急いで走り寄ったとき段差につまず	72	417	2	10～

			いて転倒し、左肩を地面で強打し打撲した。左肩腱板断裂と診断され手術を受けることとなった。				29
2017	7	17~18	当社駐車場にて、2tトラックに資材積込及び整理中、トラック荷台アオリに片足を乗せ作業を実施した際、アオリに乗せていた片足が滑り、転倒し胸を強打した。	62	221	2	30~ 49
2017	7	13~14	会社から車で現場に向かう途中、片側1車線の道路を走行中に車から荷物が落下し、その落下してしまった荷物を拾うために、Uターンし路肩に寄せて停車して助手席から車の前に出て荷物を拾おうと道に飛び出したところ、後から来た車と接触した。	43	231	17	10~ 29
2017	7	8~9	立体駐車場の連絡通路、横断歩道にて歩行者の誘導中、足をつまずかせて転倒。顎と唇を打撲して出血。	63	417	2	300 ~ 499
2017	7	2~3	車輛右廻の交通規制をしてて、右廻路の案内の担当をしていた。 道路中央から左寄に看板を立てて私はその左側で待期していた所右方向より車両が接近してきたので運転手に話しかけるべく接近しようと前にふみ出した所前方に溝があり、足がつまずいて左肩より路上に転倒した。たち上がった所左肩に激しい痛みを覚え怪我している事に気づいた。	53	418	2	30~ 49
2017	7	3~4	補修工事の鉄筋を現場の所に持っていき、トラックより降ろそうとした時に、誤って、鉄筋が落ちてしまい、右腕を打撲。	40	221	3	30~ 49
2017	7	1~2	19.8KP走行車線において、設備機器点検実施に伴う、規制設置中に貨物車（2.75t）が追突して巻き込まれた。	54	221	17	10~ 29
2017	7	1~2	19.8KP走行車線において、設備機器点検実施に伴う、規制設置中に貨物車（2.75t）が追突して巻き込まれた。	40	221	17	10~ 29
2017	7	11~12	草刈作業の交通誘導をしている時、側道の段差に気付かず、つまずき負傷したもの。安全靴を装備させ、目視で安全が確認できない所は、歩かないと、指導するもの。	58	419	3	10~ 29

2017	7	4~5	下水道工事の現場において、生コンクリート車をバックにて誘導中、円型ケーシング立杭（φ1,590×2.5m）に足を踏み外し転落した。それにより右足のくるぶしを骨折した。原因としては、当箇所は道路幅が狭く、生コンクリート車の左右の安全確認を優先したため、背後の確認を怠ったため発生したものと思われる。	60	414	1	10～ 29
2017	7	14~15	工事の昼間車線規制実施中に交通監視員がトイレを定められたトイレカーを使用せずにガードレールを乗り越えて法面で用を済ませて、戻る途中につまずき、左手をついた際に左肩を脱臼骨折したものの。	50	711	1	30～ 49
2017	7	22~23	花火大会の雑踏警備を終え、集合場所へ移動している時、カルスト台地の遊歩道を歩行していた。夜間で足元が見えにくく、周りを見渡しながら歩行していて足元への注意が不足し、下り坂の段差に足をとられ、転倒し左手をついて負傷した。	53	417	2	30～ 49
2017	7	10~11	交通規制内において、交通誘導警備業務に伴い、ライトバンの後進誘導を行っていた。他の車両が接近してきたために他の車両に気をとられ、後進して来た当該ライトバンの右後輪に右足をひかれた。	26	231	17	30～ 49
2017	7	7~8	家から仕事場へ直接出勤するため、バイクで走行中に下り坂のカーブで転倒した。その日は痛みがあったが、たいしたことは無いと思いそのまま仕事に行き、1日が終わって家に帰ってから、足の痛みと腫れが酷くなった。	62	231	17	10～ 29
2017	7	9~10	契約先にて交通誘導業務に従事。同僚警備員より当職宛に連絡が入り、当該警備員の動悸が治まらないとの申し出を受け、日陰にて休息を取っているとの内容であった。	64	715	11	50～ 99
2017	7	16~17	工業第2ドック、LSD-42（船名）のタンク6-50-1w（番地）において火気監視を行っていた。夕方、立ち上がろうとしたところ、力が入らず立ち上がることができなかったため、両手を抱えられて冷たい空気に当たって休憩した。およそ30分後にバイクで自宅に帰	73	715	11	50～ 99

			り、食事もせず就寝した。翌午前中意識がはっきりせず、救急搬送され、熱中症と診断された。				
2017	7	12~13	砂利道で転倒し、受傷した。	62	719	2	300 ～ 499
2017	7	11~12	大学病院において交通誘導に従事中、生コン車を小走りで誘導した際に、道路の段差に気付かず誤って転倒し、左膝と右手首を打ち負傷した。負傷した日は自宅で療養したが、痛みがひかなかった。	68	417	2	100 ～ 299
2017	7	17～ 18	新築工事現場での警備業務中、鉄製の出入口ゲートを閉めていた時につまずき、ゲートについているU字型フックに右上腕内側をひっかけ切創受傷し、14針を縫うこととなった。	54	379	8	10～ 29
2017	7	13～ 14	工事機材をパワーゲートで積んだ後、パワーゲートを降ろさずに飛び降りたところ、着地の際に左足膝部をひねって受傷する。尚、当社では交通誘導以外での業務を禁じており、受傷者本人も承知していた。	32	221	3	50～ 99
2017	7	5～6	規制撤去終了後、荷降ろし場（現場専用駐車帯）にて、規制材をロープで結束しているときにロープの結わきが甘く、引っ張ったときにロープが解け、そのはずみで尻もちをつき転倒した。引っ張った際、手が胸に当たり、打撲を負った。	22	379	2	30～ 49
2017	7	20～ 21	契約先の巡回中、約5m上にある窓が聞いていたため閉めようと脚立を使い、その後、壁面から出ているパイプ等に足を掛け登っていたところ、足を踏み外して3～4mの高さから転落し、背中と右肘を強打した。その後、右肘が動かせなくなり、救急車を呼び、病院に向かった。	65	371	1	500 ～ 999
2017	7	14～ 15	U字溝（道路端にある連結式の排水溝）の工事で、歩行者誘導中、U字溝の蓋の角に右足をとられて躓いた際に打撲被災した（鉄製安全靴装備）。被災後も勤務をしており、当初は何ともないと思っていたが、次第に痛みが出てきた。	53	521	3	100 ～ 299

2017	7	12～ 13	マンションの改修工事現場において、出入口に敷かれていた鉄板の上を、休憩をとるために現場から退場するため通行したとき、雨で濡れていた鉄板に足を滑らせ転倒し、臀部と腰を負傷した。	66	417	2	100 ～ 299
2017	7	17～ 18	基地跡地運動広場内にて、看板の塗装作業中、プライマー（溶剤）が左目に入り、負傷した。	49	391	12	30～ 49
2017	7	9～ 10	警備先の火災対応の指示を受け現場へ出向中、右側車線を時速30～40kmで前車両を追走する形で走行していた。T字路交差点にて右折しようとした際、前方を走行していた車両が右折したため、対向車線に走行車両はいないものと思い込み、左右の安全確認を実施せず、停止することなく交差点に進入した。そのとき対向車線（右側車線）を直進してきた車両を見落とし、相手車両と当方車両の正面衝突事故に至ったものである。	33	231	17	100 ～ 299
2017	7	7～8	作業場内において、廃棄場シャッターを手動で開閉する際に腰を痛め、その後、痛みが激しくなった。	70	418	19	1～9
2017	7	13～ 14	清掃作業現場で、車両誘導業務に従事中、休憩していたときにめまいと吐き気をもよおした。自己判断により、当日は終業時刻まで勤務し帰社したとき、めまいがして意識が朦朧とすることを会社に報告した。	28	715	11	100 ～ 299
2017	7	16～ 17	当社は請負業者であり、本人は請負先（顧客）である支店に警備庶務員として勤務していた。銀行最終点検時に、駐車場のチェーンに躓き、業務災害となったものである。業務終了後に病院を受診し、右顔面打撲と診断された。	62	379	2	500 ～ 999
2017	7	15～ 16	校内解体工事現場前の屋外道路で交通誘導整備中、当日の暑さのために、突然嘔吐し、病院へ救急搬送された。当日は晴れで、気温は33℃であった。	53	715	11	30～ 49
		18～	道路脇に前向きに駐車していた工事車両を、被災者がバック誘導し、歩道に戻ろうとした。左足から先に縁石を跨ぎ、右足を上げ				10～

2017	7	19	ようとしたところ、右足が折れた雑草に引っ掛かり、右腕側面が下側の状況で自分の体重が全てのしかかった体勢で、歩道脇の草むらに転倒し負傷した。	51	719	2	29
2017	7	23～24	構内での軌道作業の際、本人を含め4名が列車見張員として従事するため、点呼終了後、本人はバイク（125cc）にて立哨位置に向かった。その際、駅を通過した下り坂の急カーブで、縁石を乗り越えて転倒し、負傷した。	39	239	17	30～49
2017	7	15～16	次の現場への移動中、路側帯ブロックにバイクの左下面が接触し、反動で右側にバイクが倒れ、バイクと路面の間に右足を挟んで骨折した。	57	231	17	50～99
2017	7	11～12	放置車両確認業務に従事中、横断歩道を自転車を降りて押して歩き、自転車に乗ろうとしたとき、溝に前輪が引っ掛かり転倒した。その際、足を捻り、ハンドルで胸を強打した。	59	417	2	300～499
2017	7	7～8	整備事業作業所において、始業前の作業所のジャバラゲートを開けようとしたとき、ジャバラゲートの止め金が外れてしまい、そのまま自分の方にジャバラゲートが倒れ、下敷きになり、胸と背中を打ち負傷した。	63	418	7	100～299
2017	7	15～16	駐車場整理の交通誘導業務中に、気分が悪くなり、意識がなくなったため救急車で搬送された。	59	715	11	50～99
2017	7	1～2	定時巡回（徒歩）中、同敷地内の階段の手前で、雨に濡れた落葉で足を滑らせて転倒し、左腕で体を支えた際に負傷した。	38	711	2	50～99
2017	7	16～17	店舗にて、店内巡回管理・駐車場他の放置カートの回収およびレジかごの入替業務に従事していた。レジかご（W500×D350×H240mm、0.7kg）の入替業務（次々と積み重ねられていく買物かごと清算かごを両手で10～20個位ずつ重ね持ち、カートに50個強を積み上げ（地上1.7m）、倒れないように移動させて所定の置き場に降ろし、買物かごと清算かごの入替を繰り返し行う）に、1日平均6時間位従事していた。前月下旬頃より、	66	611	19	50～99

			右手に痺れを感じ、首に痛みがはしるようになった。				
2017	7	12～13	高速道路の工事規制時に、車両の荷台からカラーコーンを降ろす際によろけて転倒した。高速道路の工事規制なので車両が前へ動きながら規制を設置するため、車両の動きとタイミングが合わなかった。	55	417	2	100～299
2017	7	20～21	屋外の交通誘導に従事していた際、一旦帰宅した後に体調が悪くなり、病院に急行した。	52	715	11	50～99
2017	7	5～6	警備先の現場から自転車で自宅へ帰る途中に、事務所の電気が点灯しているのに気がつき、本来は月末に提出予定であった報告書を提出しようと思い、会社事務所へ立ち寄ろうと道路を南から北へ横断したとき、西から来た自動車と接触して転倒し、負傷した。	69	231	17	30～49
2017	7	0～1	夜間工事において、幅寄せ誘導をしていた際、脇見運転の車に追突され死亡した。	57	231	17	10～29
2017	7	11～12	警報器の取り付け作業中、シャッターの内部に配線するため、脚立の3段目に乗り、シャッターカバーを外していたとき、勢い余ってバランスを崩し、後ろ向きに転落した。その際、後頭部を床に打ちつけ負傷した。	35	371	1	10～29
2017	7	8～9	電気工事に伴う交通誘導警備を行うため、バイクで移動中、前方不注意によりハンドル操作を誤り、道路脇の側溝へ突っ込み転倒し、右肩と右肋骨を強打した。	55	231	17	300～499
2017	7	19～20	炎天下、市内道路上にて通信線工事の警備実施後、自宅に帰ってから容体が急変し、救急搬送された。	58	715	11	30～49
2017	9	16～17	小学校にて、警備システムの異常確認のため外周点検中に、雨水で濡れた草で滑り、足を挫いたもの。	43	719	19	10～29
2017	9	13～14	防災センターで、立哨にて受付業務中、万引き者に対する対応要請があり従業員通路から内を通り南出入口まで急いで向かった。その際に右足ふくらはぎ部分に痛みを感じたが勤務を続行。防災セ	50	921	19	50～99

			ンターに戻り通常勤務を行うが痛みが治らず勤務交代した。				
2017	9	16～ 17	地内に於いて下水道工事の交通誘導業務の現場勤務終了後、自動車で営業所への帰路に就いていた。途中、十字路に於いて、右側より一時停止しない相手車両が十字路に進入して来て相手車両の側面と衝突し受傷したものである。	35	231	17	50～ 99
2017	9	0～1	被災者（以下「甲」という）は、就業場所にてホーム監視、巡回業務に従事していた。甲はトイレから駅事務室へ移動する為、駅構内通路を急ぎ足で向かっていた際、右側から走ってきた男児（4歳位）と接触した。男児は甲の右足に体ごと接触してきた為、甲はバランスを崩し、左手を地面に着き転倒した。（男児に怪我はなし）事故直後は痛みがなかったが、約20分後痛みが出てきた為、病院へ行き、治療を受けた。	29	911	6	50～ 99
2017	9	9～ 10	現場にて、ミキサー車をバック誘導している時に、ミキサー車がカーブに差し掛かった所で、テントの横に置いてあった材木に気づかず後方に転倒して左手をついた際に被災した。	50	522	2	100 ～ 299
2017	9	16～ 17	現場にて、次の現場へ移動のため、高所作業車に近付いた際に足元にあった障害物に足を取られ転倒、その際に左手で体を支え左手首を負傷した。（歩行者の誘導作業を終えて、車両に乗り込もうと近付いた際の転倒）	56	417	2	100 ～ 299
2017	9	15～ 16	上記被災場所工事現場のゲートから工事車両を入れる為、一般車両を一旦停止させ完全に停止したのを確認したので、工事車両の誘導し始め、工事車両が現場内に入りきっていないのにもかかわらず、停止させていた一般車両が動き出し、該当警備員の足を引き逃走されたものである。	52	231	17	50～ 99
2017	9	10～ 11	通行止め区間の案内の業務を行っていた所、前方から40～50代の男性が運転する乗用車が向かってきて、勢いよく右折をしてきたので、その際に前輪タイヤ付近の車体がぶつかり被災した。相手は被災者にぶつかった後に、そばにある脇道にそのまま右折して逃走	26	231	17	100 ～ 299

			した。				
2017	9	11～12	建設現場で、道路の交通誘導をするためT字路で立哨していたときに、右折するトラックを誘導する際に路上を移動してトラックの方へ振り向こうとしたところ、段差があることに気付かず躓いてバランスを崩したため、転倒して路面に手をついたときに痛みを感じた。当日は、痛みをこらえながら終業時刻まで勤務して、翌日になっても痛みが引かなかったため通院した。	69	416	2	100～299
2017	9	22～23	階段を現場に向かって上っていた時、階段の上の方から男性が落ちてきて自分にぶつかり、次の瞬間頭を打って足からはね上がり、一回転して床に叩きつけられた。後頭部と首を強く打ち、全身も打撲した、右の手がしびれている。	26	413	1	100～299
2017	9	16～17	当日の就業場所にて、ビル施設の屋外広場で設置物の保安業務に従事中、突風に煽られ押さえていた展示物と一緒に転倒し負傷した。	46	419	5	100～299
2017	9	23～24	警備業務において、モニター監視中に、地下駐車場出入口スロープ付近でスケートボードをする2名を確認し、現場に向かい注意したところ、持っていたビデオカメラで撮影されたため追跡した。その際に足がもつれて肩から転倒し、右上腕骨近位骨折となった。	55	921	2	500～999
2017	9	10～11	第1ゲートにて場内の車両を出す誘導作業をしたあと、よけてあったカラーコーンを元の位置に戻す際、第1ゲートに設置されているジャバラ（パネルゲート）を支えている、ワイヤーロープに右足を引っ掛け転倒した。その際、右手を地面につき右手首を骨折した。	69	417	2	50～99
2017	9	6～7	定時開放巡回中に体育館の段差につまずき、体育器具（平均台）に顔を接触し負傷した。	59	417	2	500～999
2017	9	19～	工場旧館警備室にて、事務イスにつまずき、後方のスチール棚にて	65	417	2	100～

		20	下半身を強打、左足大腿骨を骨折した。				299
2017	9	17～ 18	工事現場の交通誘導業務終了後、置場に駐車してある同僚の車の所へ向かう際に、排水溝の端部の古くなってボロボロの笠コンクリートの上に足を乗せたところ、滑って排水溝に転落し右足すねを強打した。	34	418	1	50～ 99
2017	9	16～ 17	脚下部工事現場で警備をしている時、トイレに行く際立ち入り禁止区域とを分けるトラロープを越えようと跨いだ所、トラロープに足が引っかかり転倒し、右足首を骨折した。	76	419	2	100 ～ 299
2017	9	9～ 10	待機所としているアパートの玄関から出た時、玄関前の段差（高さ約20cm）を踏み外し、左足を骨折した。	38	417	3	300 ～ 499
2017	9	6～7	現場出発前、当社駐車場で資材を降す時に荷台より10kgのウエイトを手をすべらし落下し、左足人差し指に落下させ受傷した。	63	521	4	50～ 99
2017	9	16～ 17	集合住宅新築工事現場に於いて、交通誘導警備作業に従事中、荷降ろしを終えて出発しようというダンプ前方の安全確認の為、小走りで公道に出たところ道路の舗装に段差があり、足を取られ、前方に転倒した時、両手、両膝、胸、顔等を地面で打ち負傷する。	67	418	2	50～ 99
2017	9	14～ 15	大学の監査室内のコンクリート壁面に防犯機器を取り付ける為の穴をハンマードリルで開ける際、ドリル刃先付近に片手を添えて作業を行っており、ドリルの刃が折れ残っていた刃が左手人差し指に当たった。	50	169	8	50～ 99
2017	9	12～ 13	岸壁警備にあたっていた際、作業員の方が船舶が離岸する際の網の調整作業をしていた、強風で船があおられ、岸に近づいていてたんでいた網が急に引っ張られ、近くに居た本人の顎に当たり、その勢いで倒れ頭部を打ち、流血した為、救急車で運ばれた。	39	379	6	100 ～ 299
			現場のゲート前にてレッカー（クレーン）車で、型枠材料をR階（3階建）へ荷揚げ作業をしていた時、パイプサポートを吊り込ん				

2017	9	13～ 14	で4m位巻き上げた時に吊り荷のバランスが崩れ、パイプサポートの先端部分が落下し、吊り荷の下に入る、又、吊り荷の上昇確認を怠る不安全行動により落下したパイプサポートに気づかず、左腕と左足小指にパイプサポートの先端が当たり、左腕打撲・左足小指を骨折した。	68	521	4	50～ 99
2017	9	12～ 13	マンション内の排水管清掃作業中に、共用部分の床の化粧フタを開けようとして手がすべり、右手中指をはさんだ、右手中指の先を切断した。	39	391	7	1～9
2017	9	11～ 12	路上において、電気工事の交通誘導警備を行っている際に対向車が来たため、道を譲ろうと小走りで移動した際、グレーチングで足が滑って転倒し、その際に左足を負傷したものである。	41	417	2	50～ 99
2017	9	11～ 12	交通誘導警備を終了し、次の現場へ原付バイクで移動中、道路が狭くなる為、後続車を避けようとした際、縁石に乗り上げて転倒、バイクが右側に倒れた拍子に、体が左側に転倒し、左肋骨3本、左鎖骨を骨折したものである。	66	231	2	30～ 49
2017	9	21～ 22	地域交流センター付帯である立体駐車場を終了確認、及び施錠のため3階から2階に下るスロープにてつまずき転倒した。その際、左肩を強打し鎖骨を骨折した。	45	417	2	50～ 99
2017	9	9～ 10	道路新設工事に伴う、道路標識設置工事の現場にいたところ、道路工事に従事する大型ダンプカーが山砂を積み現場内に侵入し、運転手が被災者に気づかず、後進して接触しタイヤの下敷きになった。	69	221	6	10～ 29
2017	10	11～ 12	片側交互通行規制での交通誘導業務を行っていた。加害車両が右折で侵入した際、被災者のヘルメットにサイドミラーが接触し、その後前輪が左足甲を轢過し負傷した。	29	231	17	30～ 49
2017	10	15～ 16	道路の舗装工事での車両通行交通整理を行っていた。マンション駐車場から車両通行車線へ進出させるため、後退で誘導後、方向転換し被災者方向に直進させた。進行車線に車両が多数往来していたため、停止合図を出し一時停止させていたが、再度発進して誘導	25	231	17	30～ 49

			中の被災者に接触し負傷した。				
2017	10	12～ 13	仕事で出掛ける為、会社の車で出発、途中忘れ物に気がつき会社に戻り、駐車場に車を止めて降りて車のドアを閉め、歩こうとした瞬間につまずき、左手から転倒（左手、左ひじ、左の腰）した。痛くて、しばらくしゃがんでいるうちに、左手、首、ひじと腫れてきた。骨折した。	60	417	2	300 ～ 499
2017	10	19～ 20	舗装作業に伴う規制及び車両誘導業務が終了後、会社の指示により同僚を乗せ同僚の自宅へ車で向かっていた際、被災者の前方を走る車両が交差点で左折しようとしていることを確認した。被災者は減速せずにそのまま進行しようとしたところ、前方を走る車両が停止したため、ブレーキをかけたが避けきれず、前方を走る車両の左後方と被災者の左前方が接触し、首と腰を負傷した。	23	231	17	100 ～ 299
2017	10	10～ 11	中央線の設けられた片側一車線の直線道路から、ゆるい右カーブに差し掛かる箇所において、道路工事の片側交互通行の交通誘導を矢印誘導版、セフティーコーンを各1個設置しその内側に佇立し、対向側相動警備員1名と共に実施中、同所に向かって進行する軽四自動車を停止させようと停止合図を行ったが、同社運転者がこの合図並びに警備員に気付かず進行し、警備員は危険を察知して同車を回避しようと試みたが間に合わず、同車前部に衝突し路上に転倒し怪我を負ったもの。	66	231	17	50～ 99
2017	10	14～ 15	午後休憩を取ろうとして3ゲートの端を移動中、ゲートのジャバラに連結されているワイヤロープにつまずき転倒し、左膝を強打した。ジャバラとワイヤロープが連結されている部分は地面より30cm浮き上がった状態で垂れ下がっており、その部分に足をひっかけたものである。また地面には鉄板が敷かれていた。当日は我慢して勤務したが翌日になっても痛みが引かなかった。左膝蓋骨骨折の診断となった。	68	419	2	50～ 99
			大学敷地内に有るATM機に現金を装填に向かう際、現金輸送車を植				

2017	10	9～ 10	え込み側に駐車し、植え込み側（助手席）から降りて車両から現金バックを同乗者に渡し、ATM作業に移動する為、植え込みの段差から降りた時、バランスを崩して転倒し、左手首を骨折した。	46	418	2	30～ 49
2017	10	11～ 12	業務センター事務所内で搬送作業の集計中に他の人の足に引っ掛かって転倒。	59	921	2	30～ 49
2017	10	16～ 17	徒歩にて巡回中、放置車両の確認事務に移行するため、歩道側からガードレールを跨ごうとした際に、左足が同レールに引っ掛かり、車道上に転倒したもの。	62	418	2	10～ 29
2017	10	16～ 17	路上で、業務終了の報告をするために、就業の場所より原付バイクで向かっていたときに、太陽光で眼が眩んでしまったためブレーキが遅れて、赤信号で停車している自動車に追突した。当日は負傷していないと判断して通院しなかったものの、翌朝に起床した際、胸に痛みを感じたため通院、その後さらに眼底出血がみられた。	60	231	17	100 ～ 299
2017	10	14～ 15	詰所で休憩後に警備場所に戻る途中、砂利敷きのところで右足が躓き、転倒した時に左膝を大きめの石に強打し受傷した。	39	417	2	300 ～ 499
2017	10	10～ 11	駐車場にて、除草作業を実施していた所、近くにスズメバチの巣があり数匹のスズメバチに襲われ、慌てて逃げた所よろけて地面につまずき転倒し、肋骨を骨折してしまった。	67	911	2	—
2017	10	1～2	警備実施中、地下駐車場の区画確保の為、台車にカラーコーンを載せ消灯中の地下駐車場へ向かう。その際、車止めに引っ掛けて転倒。右大腿骨を骨折した。	52	417	2	—
2017	10	13～ 14	現場にて、片側交互通行の交通誘導警備を行っていた。通行待ちのため、タクシーを一台停車させていた。さらに、背後マンションの駐車場から、住人の車が左折で出庫しようとしていた。通行可能となったため、まず、そのタクシーに通行の合図を出し通行するのを確認し、次に後ろのマンションからの車を誘導しようと後方	48	231	17	100 ～ 299

			に1、2歩下がった際、タクシー左後輪に右足が接触し転倒した。 タクシーは走り去ってしまった。				
2017	10	10～ 11	駐屯地内給食施設にて、具材の小松菜を裁断しているとき、小松菜の束がくずれてしまい、咄嗟にそのくずれを直そうとして、左手の人さし指の爪の部分を含む先端約2cm程を深く削いでしまった。	39	364	8	100 ～ 299
2017	10	10～ 11	就業先にて、ポットから沸騰させたお湯を注ごうとした所、ポットが破損しており両手にかかってしまった。お湯がかかった直後に冷やしたものの痛みが引かず、両手を熱傷した。	30	391	11	500 ～ 999
2017	10	10～ 11	伐採作業現場にて、板を積むためにバックで3tダンプがCの方向から侵入した。現場は通行止め迂回誘導を実施している道路上であった。Cより無線でダンプの進入を聞いたAはA'の位置へ移動し、バック誘導を開始した。工事（進行方向）を確認している最中にA'の後より3tダンプが衝突したため転倒した。転倒した被災者の左腰付近にダンプの巻き込み防止装置が衝突し、乗り上げた。そのことに気づいた運転手が停止し、被災者の確認をした。	38	221	6	100 ～ 299
2017	10	4～5	製作所において警備業務中防災センター前で隊長が足元がおぼつかず、床に倒れ込んだため、直ぐに駆け寄り、声を掛けたが、話すことが出来ない状態であり、体が痙攣した。	64	921	2	500 ～ 999
2017	10	22～ 23	バイクにて、園内北門駐車場を巡回中、肩にかけていた懐中電灯が前にずれてきたため、背中の方へ移動させた時、バランスを崩し転倒した。その際、右足首と脛が縁石とバイクの間に挟まり負傷した。右足部2ヶ所のはく離骨折と診断された。	63	231	2	50～ 99
2017	10	23～ 24	夜間定時巡回実施の為、駐輪場より自転車を出し乗ろうとした際、自転車のペダルに左足をかけ、勢いをつけ右足を後方に蹴った。その際前日降っていた雨が路面に残っていた為、自転車が滑り、自転車と一緒に転倒をした。	67	362	2	100 ～ 299
2017	10	7～8	現場にて打ち合わせ終了後、社用車の駐車場から片側交互通行のストッパーの場所に配置につこうと歩いている際、現場付近の5cmの	30	417	2	30～

			段差に躓き、左足をくじき、左足首を骨折した。				49
2017	10	7～8	道路規制業務に伴う交通誘導警備の準備のため、被災者は、弊社倉庫にて資器材の積み込み作業を行っていた。クッションドラム（衝撃緩衝材）のウエイトを取り出そうと持ち上げた時に、右腕に痛みが走った。そのまま業務に従事し、翌日が休みのため経過をみていたが、日毎に痛みが酷くなった。右上腕三頭筋腱損傷と診断された。	38	611	19	30～ 49
2017	10	17～18	交通誘導現場での勤務終了後、会社に戻るため現場を離れる際の事故。出発してすぐ前のバイクが止まったので追突しないように急ブレーキをかけた。その時、前のブレーキがロックし、左方向に転倒し、左足を捻挫した。	61	231	17	50～ 99
2017	10	10～11	現場に到着し、原付バイクを停める際、誤って体勢を崩し、車の荷台に手をついたときに左手親指を負傷した。	61	231	3	30～ 49
2017	10	8～9	電柱工事に伴う警備業務のために、会社へ移動し打ち合わせを行った後、現場まで50ccバイクで向かっていたところ、T字路で西側から出てきた乗用車と出会い頭に衝突し、転倒した。	43	231	17	10～ 29
2017	10	9～10	電気工事警備の途中に御手洗いを借り現場に戻る際、入り口が坂になっていたため、躓いて転倒した。前方に転倒したため、頬・手・足・腰等挫傷した。	63	417	2	30～ 49
2017	10	8～9	工事規制前の看板に取り付けてある休工中の表示マグネットを剥がし戻る際に足を滑らせ転倒し負傷したものである。	43	419	2	50～ 99
2017	10	11～12	高速道路規制中に徐行走行するトラックの荷台から両膝立ちでラバーコーンを約5キロ一定の間隔で並べる作業中、膝が外れる感じがして負傷した。	25	921	19	30～ 49
2017	10	12～	信号なし変則交差点を南へ向かって直進中、信号なし交差点に差し掛かったときに、左側から自分の前をバンタイプの車両が右折通過した後、交差点内で右側からきた相手方車両と衝突した。交差点	34	231	17	30～

		13	内で相手方車両の発進を認知しブレーキを踏むも、間に合わなかった。				49
2017	10	23～ 24	病院において、施設警備業務に従事、定刻となり大学敷地内を自転車にて巡回していたところ、歩いていた学生を避けようとブレーキをかけたところ雨で路面が濡れておりスリップして転倒、ハンドルで胸を強打したもの。	61	719	2	100 ～ 299
2017	10	11～ 12	取引先へ必要な機材を取りに行った所、会社前の道路の凹凸に気付かず右足を取られて転倒。左目の下、鼻の下、おでこを強打。	69	417	2	30～ 49
2017	10	13～ 14	矢板を取ろうと車の荷台に上がり、矢板を持って降りる際、荷台から飛び降りて着地した時に右足をくじき骨折した。	55	221	3	30～ 49
2017	10	12～ 13	テコンドーの大会での試合中に足蹴りを受け、左太ももに筋挫傷を負った。	25	911	6	300 ～ 499
2017	10	17～ 18	倉庫の鍵を取るために社用車を会社の前に停車させて会社に入ろうとしたが、入口直前でつまずき転倒した。そのまま会社入口のガラス戸に頭から衝突し、ガラス片で顔面を大きく損傷した。	63	417	2	100 ～ 299
2017	10	8～9	シーサイド喫煙所テントの幕を設置中、脚立（5段）から落下し、左足で強く地面を踏みつけた後に転倒する。激痛で動けないため救急要請する。	46	371	1	10～ 29
2017	10	22～ 23	交差点付近でカラーコーン、バーを荷台に乗って降ろしている際に、足を滑らせて規制車から落下した。落下した際に、縁石に足をぶつけた。	53	221	1	50～ 99
2017	10	9～ 10	整備中にA運転のトラックがバックし被災者に衝突、受傷したもの。被災者は所定の位置で業務に従事し、Aが後方の確認を怠った事が事故の原因。	64	221	6	30～ 49
2017	10	9～	規制器材の矢印板設置作業中、トラックの荷台から矢印板を下ろすときにバランスを崩しトラックから落下、転倒した。その際、左	45	611	1	50～

		10	手をつき、ついた左手に全体重がかかってしまい骨折した。				99
2017	10	14～ 15	児童館前の道路工事の交通誘導中に突然意識を失い、転倒し、右側頭部及び右顔面を打った。	70	999	90	50～ 99
2017	10	15～ 16	1F塵芥室の高さ1.7mの位置にある棚にポリ袋の入ったダンボール箱10kgを置く作業をしていた。木箱に足を掛けダンボール箱を持ち上げ様としたところ、重くて中々棚に置く事が出来ずにいた時、左肩に激痛が走った。肩に力が入らず、腕も上らない。	66	611	19	30～ 49
2017	10	14～ 15	進入道山側で裾刈り作業後の草集め中に足場のコンクリートが隆起している部分で体勢を崩し、幅約150mm、深さ約150mmの排水溝へ右足が落ち込み、くるぶし外側を挫いた。	37	418	2	30～ 49
2017	10	16～ 17	作業現場より帰社途中、コンビニエンスストアに立ち寄り御手洗いを済ませ、南下し、緩い左カーブでよそ見をし曲がりきれず、センターラインより、対向車線へはみ出した際、対向車と接触し転倒した。当方は自動二輪車。	60	231	17	10～ 29
2017	10	10～ 11	保安柵で囲んだ現場内で、既設側溝を取り壊した後の休憩中に、車道側から歩道へ取り壊したコンクリート塊の上に乗って渡ろうとした時コンクリート塊が不安定で動いたため、左向きに転倒し左手を付いたが、コンクリート塊の間に腕が入り骨折をした。	44	523	2	50～ 99
2017	10	15～ 16	交通整理の警備を行っているとき休憩のため、休憩場所へ移動中、つまずき、転倒した際、右手を置いたため手首を骨折した。	64	417	2	30～ 49
2017	10	8～9	体育館巡回点検中に転倒。右膝の筋を強打する。	49	419	2	100 ～ 299
2017	11	20～ 21	店舗駐車場北出入口にて誘導業務中、凍結路面に足を滑らせて転倒した際に右手を地面に強く打ちつけ、激痛のあまり一時的にめまいを起こしたものである。めまいが回復した後も右手の強い腫れ及び疼痛が治まらず、勤務を早退し病院の受診に至る。	31	719	2	100 ～ 299

2017	11	12～13	就業場所にて巡回業務実施中、凍結路面で足を滑らせて転倒し、救急搬送されたものである。	59	719	2	100～299
2017	11	8～9	支社の倉庫プラットフォーム上で、プラットフォームに後ろ向きで駐車した車両に交換用冬タイヤを積み込むために、車両後部ハッチバックを開けようとした際に、よろけて、高さ約40cmのプラットフォームから地面アスファルトに落下し、着地する際に足首を強く捻ってしまった。	30	418	1	100～299
2017	11	13～14	通行止めで立哨していた際、幼稚園バスが来たので迂回案内をしようと急ぎ足でカラーコーンの前に出ようとして、カラーコーンに躓き、転倒した。その際、肩から落ちた為、右肩を強打した。	54	379	2	10～29
2017	11	19～20	現場にて、プラスチックすのこ架台（鉄製）を吊り上げる際に、帯が引っ掛かったため、架台をまとめようとしたところ、荷崩れして手を挟んだ。	47	416	2	1000～9999
2017	11	12～13	農道（センターライン無しの片側1車線）を走行中、交差点に差し掛かった際、右後方よりスピードを上げて交差点に突入してきた相手方車両に追突され、頸椎を捻挫した。相手方は一時停止不履行であった。	59	417	2	100～299
2017	11	14～15	派遣先事業所構内で、ピッキングした商品をカゴ車へ積み込む作業をしていた。空のカゴ車が必要になり、カゴ車置場へカゴ車（折り畳まれている）を取りに行き、カゴ車1台を引き出した時に、カゴ車がバランスを崩し手前側に倒れて来た。咄嗟に後ろに下がったが、間に合わず左足甲の辺りにカゴ車がぶつかり負傷した。	62	921	2	100～299
2017	11	15～16	工場内通路で修理が必要な機械（クレーン振動機、重さ約100kg）を台車に載せて一人で運搬中（本来フォークリフトで運搬するもの）に台車の後輪が段差にかかり、全体が傾いたため元に戻そうと両手で機械を支えようとしたが、台車ごと倒れて道路床と機械の間に右手を挟み負傷する。	56	418	2	100～299

2017	11	9～ 10	コンクリート製品を積み込み後、荷台上で地面に対し背中向きでラッシングを締めていた際、手が滑り約1.4m下のコンクリートの地面に背中から落下する。頭と背中を強打し救急搬送される。	64	231	17	100 ～ 299
2017	11	17～ 18	配水管整備工事に係る道路の交通整理警備において、車や歩行者の交通誘導をしていた為、後方からバックしてきたバックホーに気付かず、右足ふくらはぎ付近をバックホー右後方のクローラーに踏まれ負傷したものである。バックホーの運転者も日没を過ぎ視界が悪かったことに加え、運転席から右後方が死角となり、後方で警備していた当該労働者を認識していなかったと思われる。	74	142	1	10～ 29
2017	11	16～ 17	マンション改修工事現場で、駐車場への塗料飛散対策の為、車両のカバーがかけてあった。居住者が車両を出すのに、カバーを外していたので、誘導及びカバーを回収しに行こうとした際に、足がもつれて転倒し、骨折した。	61	417	2	1～9
2017	11	11～ 12	冷蔵倉庫搬入口においてコンテナトレーラーを誘導していたところ、コンテナトレーラードライバーと口論になり、相手に両腕を掴まれコンクリートの柱に後ろ向きに強く押されたために負傷した。	56	911	90	100 ～ 299
2017	11	11～ 12	工事現場の交通誘導をしている際足元の縁石に気付かず、躓いて転倒し、左手首を負傷した。	58	419	2	100 ～ 299
2017	11	11～ 12	1つ目の現場を終え、2つ目の現場に自転車で向かっている途中、災害現場である坂になっている歩道を下っていた際、自転車の前カゴに入れていた制服などが入った袋が右側のポールに接触し、その勢いでバランスを崩し左側のガードレールに衝突し、自転車を巻き込む状態で仰向けに転倒し全身を地面に強打し負傷したものである。	69	362	17	100 ～ 299
2017	11	8～9	朝礼に参加しようと、現場を歩いて移動している際に発生した。車道と歩道の切り下げ部分の段差に躓き転倒した。転倒の際に、左膝を強打した。	67	419	2	50～ 99

2017	11	14～ 15	被災者（以下甲という）は当日の就業場所において警備業務に従事していた。甲は定時外周巡回中、地下駐車場入口下りスロープで躓いて転倒し、左手首を地面についた際に負傷した。	49	419	2	50～ 99
2017	11	10～ 11	店舗駐車場にて駐車場誘導業務中、駐車場内の買い物カートをカート置き場へ片付けるために、駐車場内を見回しながら、カートがないか駐車場を移動していて、急いで自分の配置へ戻る際、車止めに躓き転倒した。その際、地面に膝を強打し膝皿骨にヒビが入る怪我を負った。	69	419	2	1000 ～ 9999
2017	11	3～4	請負契約就業先の大学病院において、第三巡回館内夜間巡回に出発以降、通常の戻り時間を過ぎても戻らず、同僚が無線および本人のPHSへ呼びかけを行うも応答が無かったため搜索したところ、西病棟Bと総合外来センターとの間の地下1階荷捌所階段付近にて、頭部から流血し意識不明の状態で見つかるのを発見した。直ちに同大学病院の救命ICUに搬送したが亡くなり、行政解剖が行われた。	67	413	1	30～ 49
2017	11	15～ 16	合材作業所内、工事現場において、交通誘導作業中、出入口のステップブロックに右足を踏み外し、右足首を外側に捻り負傷し、右足関節両果骨折、全治1ヶ月の診断を受ける。	62	419	19	1～9
2017	11	11～ 12	守衛室前で警備業務（立哨中・出入管理）中、粉塵防止の為、ホースで水撒きを行っていたが、来訪者があり臨時入門証を手渡しする際、急いで臨時入門証を渡そうとして段差に躓いた。躓いてしばらくしてから右膝に痛みがあり赤く腫れてきた。	43	418	2	50～ 99
2017	11	9～ 10	被災者（以下「甲」）当日の就業場所である工事現場にて、2tトラックをバック誘導していた時、停止していたショベルカー（以下「乙」）が後進して、乙キャタピラ後部に甲の左足首上部が接触し、甲は負傷した。	65	142	6	100 ～ 299
		16～	建設現場で、警備業務に当たっていた際に、仮設トイレに行き排尿を済ませ、仮設トイレを出たところで、誤って足元をとられ、高さ				10～

2017	11	17	1.9m下の駐車場に転落し、上半身を強く打ってしまう。当日現場は、作業の都合上仮フェンスが外れている状態であった。	72	418	1	29
2017	11	2～3	県道の舗装工事の交通誘導で片側交互通行業務中に一般車にはねられて左目上部、首、腰を負傷した。	66	231	17	30～ 49
2017	11	16～ 17	現場作業終了後、当社駐車場で、会社トラックから現場で使用する道具を社用車へ移し、帰ろうとした際、資材置場と駐車場の段差に躓き足を捻り左足第5中足骨を骨折する。急いで帰ろうとして足下を十分に確認しなかったことが原因と考えられる。	50	417	19	30～ 49
2017	11	15～ 16	お客様店舗の作業終了後、搬入口のプラットフォームから右足を捻った状態で着地し、全体重が乗り激痛が走った。	46	418	3	100 ～ 299
2017	11	12～ 13	駐車場内交通誘導警備業務実施中、来店客の誘導のために、場内を走り回ったり、停止して合図を送ったりする繰り返し作業を行っていた。右足を踏ん張った時、負荷がかかり右足首、右足大腿部に激痛がはしった。痛みを我慢して、その日は定時まで就業した。翌日には、杖を使用しないと歩行困難となった為、病院で受診した。	35	921	19	100 ～ 299
2017	11	4～5	第2待機室の仮眠用2段ベッド（上段）で仮眠し起床した際、2段ベッドの梯子から足を踏み外して床面に落下した。右肩を強打ち、右肩関節を脱臼した。	52	371	1	300 ～ 499
2017	11	21～ 22	勤務先の防災センター内で無人防犯センサーの設定確認作業中、転倒しないランプがあり、その隣のランプを確認しようとした。その際ランプが上の方にあり、見にくかった為、背伸びをしていたらバランスを崩し、滑って近くの机に右足をぶつけた。その後、数日たっても痛みがひかなかった為、後日に受診した。	63	417	3	100 ～ 299
2017	11	16～	空港南ウイング空調機械室（S4）不動洗下測定装置のセンサーの不備に対する処理 制御BOX（1.7m）の前に脚立（1.5m）を設置し作	49	371	1	10～

		17	業していた、脚立上での作業中足を滑らせ飛び降りた、その際右足かかとを地面についてしまい骨折した。				29
2017	11	12～13	埋め戻し作業の際、後進したバックホウに接触し、左足をバックホウのキャタピラで踏まれる。	33	142	7	—
2017	11	8～9	業者の班長さんに出発指示され、車に乗ろうとして、段差がある所に躓いて転倒した。その折、身体をカバーした左手指を骨折した。	68	417	2	10～29
2017	11	9～10	駐車場警備を開始後、駐車スペース内に空の買い物カゴを発見し、回収しようとした際天井に気をとられ、上部を見上げた際足元の車輪止めに躓いて前方に転倒した。その際に両膝・右胸を強打した。徐々に痛みが強くなり、数日経過後も、左膝、右胸の痛みが治まらない為、病院を受診した。	50	419	2	100～299
2017	11	13～14	芝刈り現場にて交通誘導に従事していた。昼食後、午後からの作業準備のため、資機材を取ろうと作業車両荷台に上がろうとした際、足を滑らせ左脇腹をトラックの荷台の一部分のあおり手すりにて強打した。当日は打撲程度と思い通院しなかったが、後日救急搬送され、骨折との診断を受けた。	42	221	3	100～299
2017	11	9～10	物件対処のため、車両で向かっている途中、中央分離帯に乗り上げ負傷したものである。	23	231	17	10～29
2017	11	15～16	会社の駐車場の倉庫で倉庫内の片付けと工事に使用する看板と倉庫前で修理を行っている時に、修理する看板を持って、次の作業の準備をするために、地面に置いてある看板を跨いで、移動した際に、後足が跨いだ看板に掛かり、バランスを崩して転倒した。その際に倉庫に立て掛けてある電光表示板に顔面を打ち負傷した。	63	417	2	100～299
2017	11	17～18	被災地近くでの業務が終わり、業者の車で業者運転により業者の事務所へ戻っている途中、前方の車に追突しそうになった為、運転者が急ブレーキをかけた。その際、後部座席に座っており、体が前方に投げ出されて腰を痛めた。	51	231	17	10～29

2017	11	19～20	会館の駐車場で、場内を仕切っている、高さ10cm程度のブロックに躓き転倒した。右側前頭部から側頭部にかけて強打し、頭部より出血した。転倒後、身体四肢の感覚が無く、自力で動けない状態であった為、救急車を要請し、大学病院へ搬送した。	63	417	2	50～99
2017	12	21～22	巡回中、1階後方トラックヤード前通路を歩行していた際、障害物を避けようとしてつまずき右足を挫く。	46	417	2	1～9
2017	12	15～16	現場駐車場で駐車台数のカウント業務をしていた時、凍結したスロープを徒歩で下っていた時、滑って転倒した際、左手を突き、手首を痛めた。	61	719	2	50～99
2017	12	21～22	事務所で駐車場に車両を駐車し、事務所に向かって歩行中、路面凍結により転倒して右足首を骨折したものである。	46	719	2	10～29
2017	12	9～10	業務中、高所作業車がバックした為、急いでバック誘導しようと思い走ったところ、地面が凍結していた為転倒し、左鎖骨を骨折した。	64	719	2	100～299
2017	12	10～11	信号で車を停車していた際に、後方から車に衝突された。	26	231	17	10～29
2017	12	15～16	路上で作業員B、Cと共に警備員Aが道路向かい側に横断した時に、除雪車が除雪した氷面状態の路面を歩き、右足がスリップして、左足でバランスを取ろうとして、左足に全体重がかかる無理な体勢となり転倒した。	48	417	2	30～49
2017	12	17～18	勤務終了後、日報にサインをもらい、現場事務所の階段を下り、地面に足を着く時に泥よけマットの角を踏み、足に痛みがあった。	58	379	19	10～29
2017	12	11～12	水路工事現場において、工事車両の出入りに伴う交通誘導警備中、工事車両を後進誘導する際、敷鉄板にかかとをひっかけて尻もちをつくような状態で転倒し、左大腿部を負傷したものである。後進誘導の際、足元への注意が不十分であったと認められる。	68	417	2	100～299
			事業所1階にて、売上金バッグとカセットを積載したUT台車を精査				300

2017	12	18~19	端末間通路を引いて運搬していた所、左手側にあった紙幣計算機の角にぶつけて裂傷した。	53	611	3	～ 499
2017	12	16~17	現場にて、レッカーを左折退場させるため、片側車線を停車誘導中に、一般車両に追突され、頭部打撲・肩関節打撲傷・大腿打撲傷・足関節打撲傷・手指挫傷を負った。	56	231	17	30～ 49
2017	12	17~18	就労場所で警備をしていたところ、塀を乗り越え敷地内に侵入する男を発見し、数名で身柄を確保した。その男が隠し持っていたナイフを振り回し逃走をしようとした際、右腕に7cmの切傷を負った。	49	911	99	300 ～ 499
2017	12	17~18	就労場所で警備をしていたところ、塀を乗り越え敷地内に侵入する男を発見し、数名で身柄を確保した。その男が隠し持っていたナイフを振り回し逃走をしようとした際、右脇腹と右腕に切傷を負った。	34	911	99	300 ～ 499
2017	12	16~17	巡回中、万引き犯を発見し、外に出て声を掛けたところ、犯人が急に殴りかかり、柔道技をかけ、左鎖骨を骨折したものである。	27	921	90	30～ 49
2017	12	17~18	6番線3号車付近にて、男性のリュックが丸々ドア外に出た状態でドアが閉まり、荷挟まりが発生した。現場に駆けつけた警備士がドアに手を掛け開こうとしたが開かず、車掌に合図するがしばらく開かない状態が続いた。その後、ドアが開きドアに左手を掛けていた警備士の手が戸袋に引き込まれてしまい、左手小指を負傷した。	69	232	7	300 ～ 499
2017	12	8~9	コイン洗車場にて、作業に使う車両を洗車中に凍結している地面に足を滑らせ転倒し、足首をひねりケガをした。	54	417	2	30～ 49
2017	12	15~16	住宅建設現場にて、歩行者を誘導案内するために適した場所へ移動しようとしたところ、歩道と工事帯を区別するための資機材に足を取られ、両手両膝をついた形で転倒した。	69	379	2	50～ 99
2017	12	16~17	警備現場で、建設作業が終わったためカラーコーンとコーンバーで現場入口を閉鎖していたときに、あやまって足元の石を踏んでし	65	416	2	50～

			まったため、転倒して足首を痛めた。痛みがあるため診察を受けたところ、くるぶしを骨折していることが判明した。				99
2017	12	17~18	電気工事のバケット車が移動したので、その後ろを小走りで追いかけていた。被災者が通る道路に鉄板が敷いてあり、その上ですべって転倒して、右ひざを損傷した。夕方で暗く、鉄板に雪が積もっており、状況が分からなかった。	61	521	2	10~ 29
2017	12	10~11	被災労働者が、スキー場内の駐車場にて車を誘導していたところ、凍結した路面に足をとられて転倒し、頭部を打ち、その後、手足にしびれが出た。	65	417	2	10~ 29
2017	12	8~9	店舗にて警備として勤務中に、交通誘導（駐車場）警備のため駐車場へ移動しようと下り坂を歩行中、凍結していた路面で転倒した。右足が痛み病院を受診したところ、骨折していた。	66	417	2	100 ~ 299
2017	12	6~7	被災者は、工場の守衛所にて、常駐警備員として夜間および日祝祭日に勤務している隊員である。就労中、プレス工場作業員が退出したため、施錠確認を実施しようと守衛所を出る際に、15cm程の高さの木製踏み台を使用したところ、踏み台が突然割れ、前のめりに倒れこんだ。その際に顔面右を強打し、左足を強く捻った。	70	371	2	50~ 99
2017	12	22~23	倉庫内で、高所に設置されているシャッターのセンサーを点検しようと、脚立に登っている途中で足を踏み外し、後頭部から落下しそうになったため、頭部からの転落を防ぐためにそのまま脚立から飛び降りた際、左足で着地した。	52	417	3	10~ 29
2017	12	20~21	駐車場を巡回するため階段で屋上に上がり、屋上で転倒した際に車止めに頭部を強打し、意識を失っているところをお客様が発見し、通報した。救急隊の到着時には、誕生日などを答えられない等の意識障害が見られ、病院で手術後、入院した。	50	417	2	30~ 49
2017	12	1~2	フェリー乗り場付近の岸壁にて（現地は電灯なし、暗闇）、足を踏み外して水中に落下した（推測）。	61	713	10	30~ 49

2017	12	10~11	化粧品売場の販売店舗カウンター内で、化粧品のポスターを新しい物と貼り換え作業中に、高さ1.2m程の脚立からバランスを崩して落下し、右足だけで着地し、右足裏の踵の骨を折った。	47	371	1	100 ～ 299
2017	12	9~10	常駐警備中、巡回の際に施設内の段差に躓き転倒し、右肩を強打し、右鎖骨を骨折した。	63	416	2	300 ～ 499
2017	12	11~12	駐車場5号ブロック場内において、連絡が7号管制へあり、確認のため現場へ行った。現場は閉鎖されており、連絡しても連絡がつかないため、閉鎖されているフェンスを乗り越えて着地したとき、左足の踵を強く打ち痛めた（骨折）。	67	419	13	—
2017	12	19~20	警備室で年末大そうじ中に、室内のカップボードの棚を掃除するため、手が届かなかったのでキャスター付き椅子の上に立って掃除をしていた。その際、椅子が移動してバランスを崩し、椅子から転落して座骨を強打し、左座骨を骨折した。	74	391	1	50～ 99
2017	12	20~21	受託現場（道路舗装に伴う交通誘導）を探すため、車から降りて細い道路を徒歩で確認中、車が来たため避けようとしたところ、夜間で暗かったために足を滑らせ、道路脇の水路に転落し、右足大腿部を骨折した。	54	419	1	30～ 49

出典： https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_06.html